

紀伊半島地質文献目録

紀伊半島中央構造線以南に限定、作業中

講演要旨・観測報告・巡検案内書・内部的研究報告は除く

[A]

阿部 顕 (1967), 紀州鉱山, 日本鉱業会誌, 83, 956, 1660-1664

阿部 顕・小野 広一郎 (1967), 紀州鉱山の鉱床と最近の探鉱, 鉱山地質, 17, 82/83, 121-128

阿部 喜久男 (1986), 紀伊半島中南部温泉水中のフッ素含有量, 地質調査所月報, 37, 9, 479-489

AITCHISON Jonathan C. (1986), Stratigraphy, Sedimentology and Tectonic Evolution of the Shimanto Terrane, Southwest Japan, Earth Science; Chikyu Kagaku, 40, 5, 337-363, Association for the Geological Collaboration in Japan

相川 信之・青山 俊宏 (1983), 中央構造線に近接する花崗岩類の変形, 鉱物学雑誌・高温, 高压下の鉱物結晶学, 16, special issue 1, 251-255

赤嶺 秀雄・山本 威 (1972), 大台・大杉谷の地形と地質, 三重県立博物館自然科学調査報告書・大台ヶ原山および大杉谷の自然, 4, 4-5, 三重県立博物館

赤沢 保彦・芦 寿一郎・徳山 英一 (1996), ガスハイドレート BSR から求めた熊野舟状海盆の地殻熱流量, 地球・メタンハイドレート研究の最前線, 18, 10, 660-666, 海洋出版

相沢 泰造・酒井 俊典・林 拙郎 (2010), 2004 年台風 21 号による三重県宮川村の土砂災害, 日本地すべり学会誌, 47, 1, Fr2-Fr2, 26-33

秋元 宏 (1966), 紀州三波川帯の点紋帯とその周辺部の構造地質学的考察, 地球科学, 83, 1-7, 地学団体研究会

秋元 和実 (1999), 遠州灘熊野灘における現生底生有孔虫群集の分布と海洋環境, JAMSTEC 深海研究, 14, 389-410, 海洋科学技術センター

青木 一勝・大藤 茂・柳井 修一・丸山 茂徳 (2010), 三波川変成帯中の新たな独立した広域変成帯の存在-白亜紀から第三紀の日本における造山運動-, 地学雑誌, 119, 2, 313-332, 東京地学協会

荒牧 重雄 (1965), 熊野酸性火成岩類の噴出様式, 地質学雑誌, 71, 842, 525-540, 日本地質学会

荒牧 重雄・羽田 忍 (1965), 熊野酸性火成岩類の中部および南部の地質, 地質学雑誌, 71, 841, 494-512

荒牧 重雄 (1967), 熊野酸性岩の花崗斑岩のマグマと斑晶長石の成分, 地質学雑誌, 73, 4, 181-191

青矢 睦月 (2010), 紀伊半島東部, 三重県多気郡大台地域における三波川帯-秩父帯境界, 地質調査研究報告, 61, 5/6, 195-202, 産業技術総合研究所地質調査総合センター

有田 正史・木下 泰正 (1988), 熊野灘表層堆積図および説明書 1:200,000, 海洋地質図, 32, 26, 4 sheets, 地質調査所

[B]

坂野 靖行 (1992), 紀伊半島東部, 御荷鉾緑色岩類に伴う蛇紋岩礫岩中の青色片岩, 岩鉱, 87, 6, 207-220

別所 文吉・橋本 克巳・福井 三郎・原田 久光 (1950), 第二次地下資源調査報告書, 地下資源開発鉱床地質調査報告書—金屋淵鉱山・宇井鉱山・第二宗山鉱山・銅ヶ峯鉱山・川股鉱山・高津鉱山—, 35-58, 奈良県

別所 文吉 (1975), 大阪山脈 (6), -10. 高野山から-, 地学研究, 26, 7/9, 181-198, 日本地学研究会

別所 文吉・橋本 克巳・福井 三郎・原田 久光 (1993), 奈良県下地下資源調査報告 (1951), 地質調査所研究資料集, 2323, 48

別所 孝範 (1982), 紀伊半島日高川層群砂岩の重鉱物組成—特に竜神累層と丹生ノ川累層について—, 大阪の地学教育, 4, 1-8, 大阪府科学教育センター

別所 孝徳 (1997), 紀伊半島中西部四万十累帯上部白亜系砂岩の重鉱物組成—とくに, 美山・竜神・丹生ノ川累層について—, 地質学雑誌, 103, 4, 377-390

別所 孝範 (2000), 紀伊半島四万十累帯白亜系砂岩の重鉱物組成とその時代的变化, 地質学論集・砕屑岩組成と堆積造構環境, 57, 195-210, 日本地質学会

別所 孝範 (2004), 紀伊半島四万十累帯白亜系寺杉層の砂岩組成変化とその意義, 堆積学研究, 60, 13-21, 日本堆積学会

[C]

地学団体研究会大阪支部 (1999), 大地のおいたち—神戸・大阪・奈良和歌山の自然と人類—, [4], v, 224, 築地書館, 東京

千地 万造 (1971), 和泉山脈の地形と地質, 日本自然保護協会調査報告・和泉葛城山系自然公園学術調査報告, 39, 15-23

千地 万造・両角 芳郎・石井 久夫・那須 孝悌・樽野 博幸・瀬戸 剛・岡本 素治・布谷 知夫・日浦 勇・宮武 頼夫・柴田 保彦・谷 幸三・富永 修・桂 孝次郎 (1977), 和泉山脈の自然, 52, 大阪市立自然史博物館

千木良 雅弘・平石 成美・松本 充弘 (2008), 西南日本四万十帯を中心とした斜面の不安定化機構, 日本応用地質学会研究発表会講演論文集, 2008, 3-4

千木良 雅弘・諏訪 浩・釜井 俊孝・藤田 崇・天野 一男・三田村 宗樹・後藤 聡・太田 英将・稲垣 秀輝 (2007), 奈良県国道 169 号法面崩壊地調査結果, 日本地質学会 News, 10, 4, 10-11

中央气象台地震掛 (1938), 昭和 13 年 1 月 12 日和歌山県田辺沖地震による被害・地変其他の現象, 験震時報, 10, 2, 277-280

中央气象台地震掛 (1938), 昭和 13 年 1 月 12 日和歌山県田辺沖地震調査概報, 験震時報, 10, 2, 266-276, 中央气象台

地質調査所 (1975), 全国地熱基礎調査報告書—紀伊山地—(昭和 49 年度), 17, 79, 地質調査所

地質調査所 (1995), 和歌山市西部地域における中央構造線の調査結果, 地震予知連絡会会報, 53, 663-668, 国土地理院

地質調査所 (1994), 中央構造線活断層系 (近畿地域), ストリップマップ, 1:25,000, 構造図, 9, 1 sheet, 地質調査所

[D]

檀原 徹・星 博幸・岩野 英樹・山下 透・三田 勲 (2007), 中期中新世テフラの広域対比: 房総半島K_n-1 凝灰岩と紀伊半島室生火砕流堆積物, 地質学雑誌,

113, 7, 384-389

檀原 徹・岩野 英樹・星 博幸 (2007), 紀伊半島中新世火成岩類と対比テフラ中の赤白ジルコン, 地質学雑誌, 113, 7, ix-x

[E]

遠藤 健男 (1968), 鉄鋼鉱床調査各論 第1章 近畿地方 第1節 奈良県 A 五代松鉱山, 国内鉄鋼原料調査 第6報, 1967, 1-2, 通商産業省鉱業審議会 鉱山部会

[F]

藤沢 和範・小原 嬢子 (2007), 一般国道 169 号(上北山村西原地内)で発生した斜面の土砂崩落災害, 土木技術資料, 49, 5, 4-5, 土木研究センター

藤田 崇・平野 昌繁・石井 孝行・諏訪 浩 (1985), 紀伊四万十帯にみられる地すべりの地質構造規制, 構造地質・構造地質研究会誌, 31, 33-40

藤田 崇・諏訪 浩・平野 昌繁・波田 重熙・石井 孝行 (2006), 天然ダム(地すべりダム), 昭和二八年 有田川水害・シリーズ日本の歴史災害 第6巻, 190-201, 古今書院 東京

藤田 崇・諏訪 浩・平野 昌繁・波田 重熙・石井 孝行 (2006), 斜面災害-山崩れ・山津波-, 昭和二八年 有田川水害・シリーズ日本の歴史災害 第6巻, 40-65, 古今書院 東京

藤田 崇・諏訪 浩・平野 昌繁・波田 重熙・石井 孝行 (2006), 地質の概要, 昭和二八年 有田川水害・シリーズ日本の歴史災害第6巻, 9-24, 古今書院 東京

福本 紘 (1973), 熊野灘海岸における海浜の形状について, 大阪教育大学地理学報, 12, 10-16

古川 信雄・平原 和朗 (1980), 紀伊半島下に沈み込むフィリピン海プレート構造, 地震 第2輯, 33, 3, 303-316, 地震学会

FUSHII Kunihiko · II Hiroyuki (2001), Texture to decipher growth stage of albite-porphyroblasts in pelitic schists from the Sambagawa metamorphic belt, Journal of Mineralogical and Petrological Sciences, 96, 4, 148-153, Mineralogical Society of Japan・Japanese Association of Mineralogists, Petrologists and Economic Geologists

[G]

五味 武嗣 (1985), 西吉野地すべり災害について, 地すべり研究, 29, 52-69, 全国地すべりがけ崩れ対策協議会

[H]

箱田 顯雄・正司 徳俊 (1934), 奈良県吉野郡十津川村宇宮原の山崩報告, 験震時報, 7, 3, 437-439, 中央气象台

- 浜塚 博 (1983), 和泉層群の堆積学的研究-単層解析に重点をおいた研究例と教材化への手がかかり-, 大阪の地学教育, 5, 19-26, 大阪府科学教育センター
- 羽鳥 徳太郎・相田 勇・坂下 至功・日比谷 紀之 (1983), 和歌山県湯浅・広に遡上した南海道津波の調査-1946年南海道および宝永・安政津波について-, 東京大学地震研究所彙報, 58, 1, 187-206
- 羽鳥 徳太郎 (1980), 大阪府・和歌山県沿岸における宝永・安政南海道津波の調査, 東京大学地震研究所彙報, 55, 2, 505-535
- 羽鳥 徳太郎 (1991), 徳島県と和歌山県沿岸における津波災害の比較, 歴史地震, 7, 11-19, 歴史地震研究会
- 羽鳥 徳太郎 (1996), 和歌山県沿岸の津波危険度, 歴史地震, 12, 159-167, 歴史地震研究会
- 花田 正明 (1989), 熊野灘及び周辺陸域の地形計測について, 東海大学紀要 海洋学部, 29, 111-123, 東海大学海洋学部
- 花室 孝広・梅田 浩司・高島 勲・根岸 義光 (2008), 紀伊半島南部, 本宮および十津川地域の温泉周辺の熱水活動史, 岩石鉱物科学, 37, 2, 27-38, 日本鉱物科学会
- 原口 九万 (1950), 十津川河水統制事業地質調査概査報告, 地質調査所月報, 1, 5, 282-286
- 原口 九万・福井 三郎・楨山 次郎・中川 衷三 (1950), 奈良県吉野郡川上村五色湯及び入ノ波温泉調査報告- (附), 入ノ波温泉・五色湯温泉の成因に就て-, 地質調査所月報, 1, 4, 218-221
- 原口 九万 (1956), 奈良県川迫鉦山鉄鉦賞調査報告 (雑報), 地質調査所月報, 7, 10, 483-483
- 原口 九萬 (1950), 奈良県吉野郡白銀村十津川村鉦床概査報告 (雑報), 地質調査所月報, 1, 5, 319-319
- 原口 九万・北 卓治 (1993), 奈良県吉野郡川迫鉦山磁鉄鉦調査報告 (1954), 地質調査所研究資料集, 2302, 11, 1 sheet
- 原田 円・木戸 宏 (1995), 地熱開発促進調査の地域レポート[37]本宮地域, 地熱エネルギー, 20, 1, 43-50, 新エネルギー財団
- 原田 哲郎・徳岡 隆夫・松本 英二 (1963), 紀南の牟婁層群に関する二・三の新事実-牟婁層群上部から産した化石-, 地球科学, 69, 20-24
- 原田 哲郎・鈴木 博之・寺嶋 英志・徳岡 隆夫 (1967), 紀伊半島四万十累帯の研究-本宮町・中辺路町付近の牟婁層群-, 地球科学, 21, 6, 1-9
- 原田 哲郎・志岐 常正・徳岡 隆夫 (1969), 和歌山県切目崎海岸に発達する砂質フリッシュの堆積構造 (その1)-内部堆積構造とBOUMAの模式-, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 19, 31-36, 1 sheet
- 原田 哲郎 (1969), 南方陸地は存在したか?-紀伊半島南部の地質学的研究から-, Nature Study, 15, 10, 130-133, 大阪自然科学研究会
- 原田 哲郎・徳岡 隆夫・鈴木 博之・吉村 郁夫 (1970), 南九州四万十累帯から Orthoquartzite 礫の発見, 地球科学, 24, 5, 188-190
- 原田 哲郎 (1971), 南方陸地ものがたり-幻の黒潮古陸をもとめて-, 国土と教育, 2, 5, 194-198, 築地書館
- 原田 哲郎 (1971), 熊野枯木灘県立自然公園の地質, 日本自然保護協会調査報告・熊野枯木灘自然公園学術調査報告, 40, 13-23, 日本自然保護協会
- 原田 哲郎・徳岡 隆夫 (1974), 黒潮古陸, 科学, 44, 8, 495-502, 岩波書店
- 原田 哲郎・鈴木 博之・立石 雅昭・徳岡 隆夫 (1975), 四万十地向斜の発展史とフィリピン海, フィリピン海域の地質学的諸問題・日本地質学会第82年学術大会討論会資料集, 113-117
- 原田 哲郎・徳岡 隆夫 (1986), 黒潮古陸 日本列島の形成-変動帯としての歴史と現在-, 293-300, 岩波書店
- 原田 哲郎・中屋 志津男・吉松 敏隆 (1988), 紀の国-石ころ散歩, 236, 宇治書店
- 原田 哲郎・中屋 志津男 (1999), 温泉, アーバンクボタ, 38, 42-56, クボタ

橋本 勇 (1968), 和歌山県由良・御坊地域の日高川層群, 九州大学教養部地学研究報告, 15, 57-66

HASHIMOTO Mitsuo · KANEHIRA Keiichiro (1979), Preliminary Study of Mineral Paragenesis of Quartz Schists of the Iimori District Sambagawa Terrane, Japan, Memoirs of the National Science Museum · Natural History of the Southern Part of the Japanese Alps and the Kii Peninsula, Including the Tokai District (1), 12, 23-27

橋本 寿夫・石田 啓祐 (1997), 四国の上部白亜系, 和泉層群, 外和泉層群, 四万十累層群の放散虫群集と対比, 大阪微化石研究会誌, 特別号・放散虫研究集会論文集(第5回), 10, 245-257

HATAI Kotora · KOTAKA Tamio (1961), A Miocene Problematika from Wakayama Prefecture, Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series, 43, 124-126

HATAI Kotora · KOTAKA Tamio (1971), Some Coprolites from Wakayama Prefecture, Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series, 81, 52-58, Palaeontological Society of Japan

はてなし団体研究グループ (1971), 紀伊半島西部海岸地域の牟婁層群の層序と構造, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 21, 71-83

はてなし団体研究グループ (1973), 紀伊半島西部海岸地域の音無川ムロ層, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 23, 73-91

はてなし団体研究グループ (1974), 和歌山県本宮町付近の音無川ムロ層の層序と構造, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 24, 37-49

はてなし団体研究グループ (1975), 音無川ムロ層の層序と構造, 地団研専報・地向斜の諸問題 19, 157-166

はてなし団体研究グループ (1977), 和歌山県田辺市北方の音無川ムロ層の層序と構造, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 26, 33-43

はてなし団体研究グループ (1977), 紀伊半島四万十累帯の音無川層群, 地団研専報・日本列島構造発達史の諸問題, 20, 141-143

はてなし団体研究グループ (1980), 紀伊半島四万十累帯, 音無川帯の研究-層序と構造の総括-, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 29, 33-69

林 拙郎・土屋 智・近藤 観慈・芝野 博文・沼本 晋也・小杉 賢一朗・山越 隆雄・池田 暁彦 (2004), 2004年9月29日, 台風21号に伴って発生した三重県宮川村の土砂災害 (速報), 砂防学会誌・新砂防, 57, 4, 48-55

平沢 清 (1978), 地熱開発調査の地域レポート (6), 紀伊山地地域, 地熱エネルギー, 3, 2, 23-33, 日本地熱資源開発促進センター

久富 邦彦・石上 知良・中屋 志津男・坂本 隆彦・鈴木 博之・立石 雅昭 (1980), 牟婁層群の「サラシ首層」-オリストストロームの一型式-, 地球科学, 34, 2, 73-91

七山 太・加賀 新・木下 博久・横山 芳春・佐竹 健治・中田 高・杉山 雄一・佃 栄吉 (2002), 紀淡海峡, 友ヶ島において発見された南海地震津波の痕跡, 海洋, 号外・津波研究の最前線-2-過去の津波の事例研究-, 28, 123-131, 海洋出版

平林 万衛・横田 浩致・木本 博 (1993), 和歌山県地下資源調査報告書第6班 (1954), 地質調査所研究資料集, 2287, 20

平野 昌繁・諏訪 浩・石井 孝行・藤田 崇・後町 幸雄 (1984), 1889年8月豪雨による十津川災害の再検討-とくに大規模崩壊の地質構造規制について-, 京都大学防災研究所年報, 27B-1, 369-386

平野 昌繁・諏訪 浩・石井 孝行・藤田 崇・奥田 節夫 (1987), 吉野郡水災誌小字地名にもとづく1889 (明治22)年十津川災害崩壊地の比定-その1 西十津川-, 京都大学防災研究所年報, 30B-1 391-408

平野 昌繁 (1990), 十津川災害百年, 防災科学資料センター・ニュース, 2, 19-21, 京都大学防災研究所防災科学資料センター

平野 昌繁・島津 俊之・野尻 亘・奥田 節夫 (1991), 吉野郡水災誌小字地名にもとづく1889 (明治22)年十津川災害崩壊地の比定-南十津川・東十津川-,

人文地理, 43, 5, 493-503, 人文地理学会

平野 富雄 (2005), 全国温泉巡りの旅 (六十七)―和歌山県・白浜温泉 (二十五)・塩水温泉―, 温泉, 73, 3, 36-39, 日本温泉協会

平野 富雄 (2003), やさしい温泉化学―全国温泉巡りの旅 (五十四), 和歌山県・白浜温泉 (十二)・コガノイベイホテルの大浴場の温泉―, 温泉, 71, 10, 20-23, 日本温泉協会

平沢 清 (1978), 地熱開発調査の地域レポート(6), 紀伊山地地域, 地熱エネルギー, 3, 2, 23-33, 日本地熱資源開発促進センター

平田 統一 (1967), 和歌山市内の井戸水の成分調査 (第1報), 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 17, 31-39

平田 統一 (1968), 和歌山市内の井戸水の成分調査 (第2報), 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 18, 33-41

平山 健・田中 啓策 (1956), 5万分の1地質図幅「海南」及び説明書, 地質図幅, 1:50,000, 11 Kyoto, 88, 74, 1 sheet, 地質調査所

平山 健・田中 啓策 (1956), 5万分の1地質図幅「動木」及び説明書, 地質図幅, 1:50,000, 11 Kyoto, 89, 48, 1 sheet, 地質調査所

平山 健・岸本 文男 (1957), 5万分の1地質図幅「吉野山」及び説明書, 地質図幅, 1:50,000, 11 Kyoto, 75, 52, 1 sheet, 地質調査所

平山 健・神戸 信和 (1959), 5万分の1地質図幅「高野山」及び説明書, 地質図幅, 1:50,000, 11 Kyoto, 82, 48, 1 sheet, 地質調査所

平石 成美・千木良 雅弘 (2008), 紀伊山地中央部の斜面地形の発達, 日本応用地質学会研究発表会講演論文集, 2008, 1-2

広川 治・水野 篤行 (1965), 5万分の1地質図幅「串本」及び説明書, 地質図幅, 1:50,000, 11 Kyoto, 109, 29, 1 sheet, 地質調査所

広田 善夫 (1991), 紀伊半島西部の三波川変成帯の地質, 島根大学理学部紀要, 25, 131-142

久富 邦彦・三宅 康幸 (1981), 紀伊半島潮岬地域の隆起運動と火成活動, 地質学雑誌, 87, 10, 629-639

久富 邦彦 (1981), 紀伊半島南東部の熊野層群の地質と堆積, 地質学雑誌, 87, 3, 157-174

久富 邦彦・中屋 志津男 (1982), 音無川層群羽六累層下部層の堆積学的研究, 砕屑性堆積物の研究, 1, 23-27, 砕屑性堆積物研究会

HONDA Yutaka (1992), A Miocene molluscan fauna from the Owase Group, Kii Peninsula, Southwest Honshu, Bulletin of the Mizunami Fossil Museum・DR. Junji Itoigawa Memorial Volume, 19, 413-425

堀 実 (1968), 和歌山県湯浅で観測された地震の震度とマグニチュードについて, 地震 第2輯, 21, 1, 74-76, 日本地震学会

堀 高峰 (2004), 紀伊半島南東沖の地震とその背景, 科学, 74, 11, 1273-1276, 岩波書店

堀井 甚一郎・千田 正美・吉田 福雄 (1977), 地形・地質, 十津川学術調査報告書十津川文化叢書合本, 3-10, 十津川村 (奈良)

星 博幸・三輪 健治・川上 裕 (2004), 古地磁気方位の比較からみた熊野酸性岩類北部と南部及び室生火砕流堆積物の時間関係, 地質学雑誌, 110, 2, 103-118

星 博幸 (2002), 熊野酸性火成岩類の古地磁気方位, 地質調査研究報告, 53, 1, 43-50, 産業技術総合研究所地質調査総合センター

星 博幸・岩野 英樹・檀原 徹・吉田 武義 (2003), 紀伊半島, 潮岬火成複合岩類のフィッショントラック年代測定, 地質学雑誌, 109, 3, 139-150

星 博幸・三輪 健治・川上 裕 (2004), 古地磁気方位の比較からみた熊野酸性岩類北部と南部及び室生火砕流堆積物の時間関係, 地質学雑誌, 110, 2, 103-118

星 博幸・神谷 直宏・川上 裕・中島 和夫 (2004), 紀伊半島中央部, 奈良県中奥地域にみられる中新世岩脈の古地磁気と岩石磁気, 地質学雑誌, 110, 11, 686-697

星野 通平 (1975), 黒潮古陸の位置, フィリピン海域の地質学的諸問題・日本地質学会第82年学術大会討論会資料集, 121-132

[1]

- 井原 努 (2001), 和歌山県名南風半島における黒瀬川帯シルル紀 G2 相化石の発見, 地学研究, 49, 4, 229-231
- 市川 浩一郎 (1975), 本州・四万十地向斜とプレートテクトニクス, 地団研専報・地向斜の諸問題 19, 241-246, 地学団体研究会
- 飯田 汲事 (1986), 歴史的被害地震補遺-a. 天治元年閏 2 月 1 日 (1124 年 3 月 25 日) の尾張地震, b. 応永 14 年 1 月 5 日 (1407 年 2 月 21 日) の紀州の地震, 歴史地震, 2, 1-7, 東京大学地震研究所
- 飯田 汲事 (1989), 正平 15 年 10 月 5 日 (1360. 11. 22) の地震津浪の検討および熊野地方の地震と津浪, 歴史地震, 5, 25-32, 歴史地震研究会
- 飯塚 保五郎 (1932), 7 万 5 千分の 1 地質図幅「尾鷲」及び説明書, 地質図幅 1:75, 000, 188, 17, 1 sheet, 地質調査所
- 飯塚 保五郎 (1932), 7 万 5 千分の 1 地質図幅「野後」及び説明書, 地質図幅 1:75, 000, 185, 40, 1 sheet, 地質調査所
- 居川 信之 (1992), 田辺層群の岩盤地すべりの一形態, 日本応用地質学会研究発表会講演論文集, 1992, 153-156
- 池辺 展生・千地 万造・両角 芳郎 (1975), 浮遊性有孔虫層からみた熊野層群の *Lepidocyclina* 層準, 大阪市立自然史博物館研究報告, 29, 81-89
- 今井 秀喜・上野 三義 (1958), 和歌山県紀南地区コバルト鉱床における放射能鉱物調査報告, 地質調査所月報, 9, 5, 381-382
- IMAKIURE Tetsuro · OZAWA Shinzaburo · YARAI Hiroshi · NISHIMURA Takuya · SUITO Hisashi (2006), Crustal deformation by the Southeast-off Kii Peninsula Earthquake, Bulletin of the Geographical Survey Institute, 53, 51-56, Geographical Survey Institute
- 稲井 信雄 (1964), 奈良県吉野川電源開発地質調査, 地質調査所月報, 15, 5, 317-320
- 伊奈 治行・柴田 浩治・市原 俊・氏原 温 (2007), 奈良県東部山粕層群伊賀見砂岩部層の中期中新世初期の植物化石, 豊橋市自然史博物館研究報告, 17, 1-6
- 稲森 潤 (1952), 奈良県吉野郡大峰山脈北部に於けるアプライト脈の産状に就いて, 東京学芸大学研究報告(化学・地学), 3, 19-22
- 稲積 章生・田中 増子・川人 美夫 (1980), 紀伊山地の古生層西吉野層群の泥岩の化学組成ならびに秩父帯の古生層泥岩の化学的特徴について, 香川大学教育学部研究報告 第 2 部, 30, 2, 127-134
- 井内 美郎・奥田 義久・吉田 史郎 (1978), 紀伊水道南方の上部大陸斜面成立時期, 地質学雑誌, 84, 2, 91-93
- 井内 美郎・木下 泰正 (1977), 紀伊水道南方表層堆積図 1:200, 000, 海洋地質図, 6, 3 sheets
- 井上 善夫 (2004), 和歌山県の地盤, 地質と調査, 102, 42-48, 土木春秋社
- 石原 舜三 (1992), 近畿地方の天然記念物, 地質ニュース, 454, 6-14, 実業公報社
- 石川 成章 (1932), 南紀湯崎温泉, 白浜, 湯崎温泉叢書 科学文献篇 (昭和 7 年版), 13-45, 紀南の温泉社, 田辺町
- 石川 憲一 (1997), 紀伊半島西部龍門山地域の三波川変成帯, 島根大学総合理工学部紀要 シリーズ A, 31, 201-216
- 石上 知良・鈴木 博之・公文 富士夫・木村 克己・別所 孝範・中村 和喜・中屋 志津男・谷口 純造・徳岡 隆夫・久富 邦彦・中沢 圭二・坂本 隆彦・中條 健次・松山 尚典・紀州四万十帯団体研究グループ (1991), 和歌山県中東部の日高川層群湯川累層・美山累層・紀伊半島四万十帯の研究 (その 12)-, 地球科学, 45, 1, 19-38
- 石飛 碩朗 (1970), 石原産業株式会社紀州鉱業所, 探鉱, 31, 10-15, 金属鉱物探鉱促進事業団

- 磯崎 行雄・前島 渉・丸山 茂徳 (1981), 和歌山県徳島県秩父累帯北帯先白亜系からのジュラ紀型放散虫化石の産出, 地質学雑誌, 87, 8, 555-558
- 磯崎 行雄・板谷 徹丸 (1990), 四国中央部および紀伊半島西部黒瀬川地域北縁の弱変成岩類の K-Ar 年代-西南日本における黒瀬川地帯の広がりについて-, 地質学雑誌, 96, 8, 623-639
- 伊藤 純一 (2005), 文化五年十月十七日 (1808.12.4) 四国・紀伊半島で記録された小津波, 歴史地震, 20, 65-73, 歴史地震研究会
- 岩橋 豊彦・山際 延夫 (1973), 和歌山県有田郡清水町井谷地域におけるコノドント産出層の時代についての再検討, 地質学雑誌, 79, 10, 699-700
- 岩橋 勉 (1951), 和歌山県北西部の古期岩層について, 和歌山大学学芸学部学芸研究 (自然科学), 2, 75-80
- 岩橋 勉 (1953), 和歌山県那賀郡麻生津村横谷の地回り, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 3, 33-37
- 岩橋 勉 (1954), 和歌山県日高郡のマンガン鉱床について, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 4, 39-42
- 岩橋 勉 (1955), 和歌山県那賀郡鞆淵村の玄武岩について, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 5, 29-32
- 岩橋 勉 (1956), 紀伊半島に於ける点紋結晶片岩帯の分布について, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 6, 6-9
- 岩橋 勉 (1957), 和歌山県伊都郡九度山町笠木, 葛和鉱山附近の地質と鉱床, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 7, 30-35
- 岩橋 勉 (1958), 和歌山県海南市東上谷附近の地回りと崖錐角礫岩について, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 8, 27-30
- 岩橋 勉 (1959), 和歌山市の地質, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 9, 19-26
- 岩橋 勉 (1960), 和歌山県三波川変成帯中央部の背斜構造, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 10, 151-157
- 岩橋 勉 (1961), 和歌山市和歌浦・名草山地域地質図 (其の2), 1 sheet, 海南市教育委員会
- 岩橋 勉 (1961), 和歌山県北西部貴志川以西点紋結晶片岩帯地質図 (其の1), 1 sheet, 海南市教育委員会
- 岩橋 勉 (1962), 紀ノ川南部の点紋結晶片岩帯の地質構造 (予報), 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 12, 53-60
- 岩橋 勉 (1968), 和歌山県北部長峰山脈の地質構造と層序に関する問題点, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 18, 19-31
- 岩橋 勉 (1970), 貴志川の河川争奪の時代と流路の変向について (予報), 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 20, 55-61
- 岩橋 勉 (1971), 紀の川流域の井戸枯れと水位の低下現象について (1), 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 21, 53-70
- 岩橋 勉 (1973), 近畿自動車道と和歌山線 (阪南町・海南市間) 並びに一般有料道路海南湯浅線に沿う地質, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 23, 51-63
- 岩橋 勉 (1974), 紀の川構造谷の地質, 特に農林省紀の川農業用水路の建設並びに和歌山県紀の川河谷の広域営農団地農道整備事業に関連して, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 24, 17-35
- 岩橋 勉 (1976), 和歌山公園を中心とした地形・地質と和歌山城石垣史, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 25, 15-38
- 岩橋 勉 (1977), 和歌山微小地震の震央集中域とその地質, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 26, 21-31
- 岩橋 勉 (1978), 和歌山県長峯帯の地質-特に有田川鉱業用水道トンネル並びに一般有料道路海南湯浅道路トンネルの建設に関連して-, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 27, 35-53
- 岩橋 勉 (1978), 紀伊半島西部三波川帯の彎曲と幅の縮小-高野山有料道路並びに高野竜神スカイラインの建設に関連して-, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 28, 17-26
- 岩橋 勉 (1978), 紀伊半島西部三波川帯の彎曲と幅の縮小-高野山有料道路並びに高野竜神スカイラインの建設に関連して-, 和歌山大学教育学部紀要

(自然科学), 28, 17-26

岩橋 勉 (1980), 和歌山県長峯変成帯縦貫-藤白・長峯トンネル地質調査資料, 和歌山大学教育学部紀要(自然科学), 29, 11-24

岩橋 勉 (1981), 紀の川大規模農道の建設と中央構造線, 和歌山大学教育学部紀要(自然科学), 30, 61-74

岩橋 勉 (1982), 和歌山県長峯変成帯の一地質断面, 和歌山大学教育学部紀要(自然科学), 31, 31-40

岩橋 勉 (1983), 一般有料道路海南湯浅道路の建設と地質, 和歌山大学教育学部紀要(自然科学), 32, 17-31

岩野 英樹・檀原 徹・星 博幸・川上 裕・角井 朝昭・新正 裕尚・和田 稔隆 (2007), ジルコンのフィッショントラック年代と特徴からみた室生火砕流堆積物と熊野酸性岩類の同時性と類似性, 地質学雑誌, 113, 7, 326-339

岩野 英樹・檀原 徹・星 博幸 (2009), 紀伊半島, 中新世火成岩類のアパタイトのフィッショントラック年代, 地質学雑誌, 115, 8, 427-432

岩田 好一朗 (2000), 熊野川河口周辺域の海岸浸食-その原因と対策-, 海洋, 32, 3, 192-196, 海洋出版

岩田 知孝・浅野 公之 (2005), 2004年9月5日記伊半島沖-東海道沖地震の地震動, DPR Newsletter, 35, 13-14, 京都大学防災研究所

[J]

JONG Koen de・KURIMOTO Chikao・GUISE Phil (2000), 40Ar/39Ar whole-rock dating of metapelites from the Mikabu and Sambagawa Belts, western Kii Peninsula, Southwest Japan, Journal of the Geological Society of Japan, 106, 10, 703-712, Geological Society of Japan

[K]

角田 隆彦・佐竹 義典・金折 裕司 (1981), 中央構造線の分布・性状と活動性-紀伊半島中・西部地域における断層露頭の調査および解析-, 電力中央研究所報告, 380044, v. 203, 電力中央研究所・土木技術研究所

海上保安庁水路部 (1988), 海底地質構造図, 海底地形図「紀伊水道東部」, 沿岸の海の基本図 (5万分の1), 6383 (5), 2 sheets, 海上保安庁

海上保安庁水路部 (1978), 紀伊水道付近の海底地形, 地質構造について, 地震予知連絡会会報, 19, 129-131, 国土地理院

海洋科学技術センター・朴 進午 (2002), 熊野灘沖南海トラフの地震発生帯で発見された分岐地震断層-海溝型巨大地震の発生メカニズム解明に大きな進展-, Blue Earth, 14, 6, 24-27, 海洋科学技術センター

掃部 満・中沢 圭二 (1989), 和歌山県清水町東部の秩父累帯南帯の地質, 地質学雑誌, 95, 1, 45-61

神山 貞二・小島 丈児・岩橋 勉・秀 敬・吉田 博直・中村 威・福本 博美・米林 滋・浜島 勲・嘉村 豊・大久保 義和・由井 俊三・兼平 慶一郎・瀧木 輝一・神田 茂樹・三浦 富士雄・中川 正男・大八木 規夫 (1964), 和歌山県飯盛周辺地帯の地質と鉱床の位置-飯盛周辺地帯の地質鉱床に関する広域的総合的研究 (その1)-, 鉱山地質, 14, 6, 336-349, 日本鉱山地質学会

神山 貞二・小島 丈児・岩橋 勉・秀 敬・吉田 博直・中村 威・福本 博美・米林 滋・浜島 勲・嘉村 豊・大久保 義和・由井 俊三・兼平 慶一郎・瀧木 輝一・神田 茂樹・三浦 富士雄・中川 正男・大八木 規夫 (1966), 和歌山県飯盛鉱山周辺地帯の鉱床, 特に層序と地質構造との関係-飯盛周辺地帯の地質鉱床に関する広域的総合研究 (その2)-, 鉱山地質, 16, 6, 332-341

- 上山 高明 (1984), 河川の災害復旧工事例 西吉野の地すべり対策, 土木技術, 39, 8, 89-96, 土木技術社
- 鎌田 浩毅 (2007), 火山を伴わない温泉, 科学, 77, 12, 1288-1289, 岩波書店
- KANAMORI Hiroo (1967), Upper Mantle Structure from Apparent Velocities of P Waves Recorded at Wakayama Micro-Earthquake Observatory, Bulletin of the Earthquake Research Institute, University of Tokyo, 45, 3, 657-678
- 金子 弘二 (1967), 紀伊半島中部の大峯火成岩類 宮崎大学教育学部紀要 自然科学, 22, 18-32
- 金子 弘二 (1969), 紀伊半島東南部の熊野酸性火成岩類 (その1) - 若干の造岩鉱物について -, 宮崎大学教育学部紀要 自然科学, 25, 1-12
- KANIE Y. (1972), Anagaudryceras and Inoceramus from the Cretaceous Formation of Southwestern Yuasa, Wakayama Prefecture, Japan, Science Report of the Yokosuka City Museum, 19, 20-22
- 欽崎 智弘・満塩 大光 (2000), 南部紀伊半島付近の第四系概要-特に東部四国との対比に関連して-, 愛媛の地学研究・鹿島愛彦教授退官記念論文集, 4, 1, 115-123, 鹿島愛彦教授退官記念事業会・愛媛地学調査研究会
- 環境庁 (1989), 自然環境情報図, 奈良県 (縮尺 1:200,000)-第3回自然環境保全基礎調査-, 6, 1 sheet
- 勘米良 亀年 (1993), 戦後の25年古生界・四万十帯の研究-地向斜造山論の発展-, 日本の地質学 100年, 63-74, 日本地質学会
- 甘露寺 泰雄・堀内 公子・村上 悠紀雄 (1979), 勝浦湯川地区における Ra, Rn の存在とその起因に関する地球化学的考察, 温泉科学, 29, 4, 183-191, 日本温泉科学会
- KANEHIRA Keiichiro・BANNO Shohei (1960), Ferriphengite and Aegirinjadeite in a Crystalline Schist of the Iimori District, Kii Peninsula, Journal of the Geological Society of Japan, 66, 781, 654-659
- 加納 博 (1964), 四万十川変成帯-"紀伊半島中央部の三波川変成帯作用" (関陽太郎ほか)によせて-, 岩石鉱物鉱床学会誌, 52, 6, 222-225
- 加納 博 (1970), 有田川流域の浦河統下部階礫岩中の領家変成岩礫の存在-含花崗質岩礫岩の研究 (その21)-, 地質学雑誌, 76, 3, 143-150
- 加瀬 善洋・前島 渉 (2010), 和歌山県湯浅地域の下部白亜系西広層の河川成堆積物およびその古流向と碎屑物供給源, 地質学雑誌, 116, 5, 287-290
- 加藤 潔・坂 幸恭 (1997), 紀伊半島中東部, 三重県大宮町-宮川村の秩父累帯, 地質学雑誌, 103, 2, 128-140
- 柏木 健司・八尾 昭 (1993), 紀伊半島西岸湯浅地域から産したジュラ紀-白亜紀古世放散虫化石とその意義, 大阪微化石研究会誌, 特別号・放散虫研究集会論文集 (第4回), 9, 177-189
- 柏木 健司・八尾 昭 (1997), 紀伊半島西部黒瀬川帯の名南風鼻とバベ鼻レンズ状部の地質関係, 大阪微化石研究会誌, 特別号・放散虫研究集会論文集 (第5回), 10, 47-53
- 柏木 健司 (1998), 紀伊半島西部, 湯浅地域から産した白亜紀新世放散虫化石, 地球科学, 52, 5, 412-416
- 柏木 健司 (1998), 紀伊半島西部, 秩父北帯小浦コンプレックスから産出したジュラ紀古世放散虫化石, 大阪微化石研究会誌, 特別号・放散虫研究集会論文集 (第6回), 11, 123-135
- 柏木 健司・八尾 昭 (1999), 紀伊半島西部の黒瀬川帯周辺の上部ジュラ系-下部白亜系池之上層, 地質学雑誌, 105, 8, 523-535
- 柏木 健司 (2001), 紀伊半島東部秩父帯の犬戻峡コンプレックス: チャート碎屑岩シークエンスで特徴づけられるジュラ紀付加複合体, 地質学雑誌, 107, 10, 640-658
- 柏木 健司・山際 延夫・八尾 昭・江崎 洋一・酒折 有美子・庄司 康弘 (2002), 紀伊半島西部の黒瀬川帯周辺の鳥巢式石灰岩から産するジュラ紀新世刺

胞および海綿動物化石とその地質学的意義, 化石, 72, 5-16, 日本古生物学会

柏木 健司・山際 延夫・八尾 昭・江崎 洋一・酒折 有美子・庄司 康弘 (2002), 紀伊半島西部の黒瀬川帯周辺の鳥巢式石灰岩から産するジュラ紀新世刺胞および海綿動物化石とその地質学的意義, 化石, 72, 5-16, 日本古生物学会

柏木 健司 (2005), 紀伊半島東部の霧穴 (石灰岩洞窟) から産した放散虫化石, 洞窟学雑誌, 30, 29-34

柏木 健司 (2005), 三重県宮川村の春日谷における 2004 年台風 21 号時に発生した斜面災害の地質素因 (予察報告), 日本地すべり学会誌, 42, 3, 251-256

柏木 健司・丹羽 正和・常盤 哲也 (2005), 紀伊半島中央部の三之公地域の秩父累帯から産したジュラ紀古世放散虫化石, 地質学雑誌, 111, 3, 170-181

柏木 健司・永田 秀尚・常盤 哲也 (2006), 三重県宮川村の春日谷における 2004 年台風 21 号時に発生した斜面崩壊の被災状況 (その 1) - 地すべりダムの下流 -, 地質ニュース, 624, 30-35, 実業公報社

柏木 健司 (2006), 三重県宮川村の春日谷における 2004 年台風 21 号時に発生した斜面崩壊の被災状況 (その 2) - 地すべりダムの上流 -, 地質ニュース, 625, 49-56, 実業公報社

柏木 健司 (2006), 2004 年 9 月末の台風 21 号の豪雨により生じた宮川流域の堆砂状況, 地質ニュース, 624, 5-6, 実業公報社

柏木 健司・吉田 勝次・稲垣 雄二・近野 由利子・鈴木 健士・五藤 純子 (2007), 紀伊半島東部の霧穴 (石灰岩洞窟) の地下地質と阿曾カルストの地質構造 (予察), 福井県立恐竜博物館紀要, 6, 35-44

柏木 健司 (2007), 紀伊半島東部秩父南帯の犬戻峡コンプレックス: 放散虫化石年代と野又衝上断層, 地質学雑誌, 113, 6, 233-248

柏木 健司 (2008), 「紀伊山地中央部の中・古生界 (その 10) - 大杉地域 -」論文の地層記載と対比について, 地球科学, 62, 2, 119-123

柏木 健司・高木 まりえ・阿部 勇治・酒徳 昭宏・田中 大祐 (2009), 紀伊半島東部の石灰岩洞窟の霧穴から産した哺乳類遺体とその炭素 14 年代 (予報), 福井県立恐竜博物館紀要, 8, 31-39, 福井県立恐竜博物館

柏木 健司・阿部 勇治・高木 まりえ (2010), 紀伊半島東部の霧穴 (石灰岩洞窟) 産哺乳類遺体の炭素 14 年代とその意義, 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, 21, 96-99, 名古屋大学年代測定総合研究センター

加藤 潔 (1995), 紀伊半島東部, 三重県度会町〜大宮町東部の秩父累帯, 地質学雑誌, 101, 3, 211-227

加藤 潔・坂 幸恭 (1997), 紀伊半島中東部, 三重県大宮町〜宮川村の秩父累帯, 地質学雑誌, 103, 2, 128-140

加藤 潔・清水 宏典・坂 幸恭 (2002), 紀伊半島中央部, 三重県宮川村〜奈良県天川村の秩父累帯, 地質学雑誌, 108, 9, 557-574

甲藤 次郎 (1976), ゆらぐ南紀の玉手箱 - サラシ首ゲテモノ化石黒潮古陸のことなど -, 地質ニュース, 260, 24-35, 実業公報社

勝 宗平 (1981), 熊野市大泊を歩く, 鉱物情報, 42, 503-503, 鉱物情報編集部

海津 正倫 (2005), 2004 年台風 21 号に伴う三重県宮川流域の土砂災害と河川の氾濫, 地理, 50, 1, 70-79, 古今書院

貝塚 爽平 (1986), 紀伊山地・四国山地と九州の山やま, 日本の自然・日本の山, 2, 181-212, 岩波書店

川端 清司 (1999), 橋杭岩, Nature Study, 45, 6, 2-2, 大阪市立自然史博物館友の会

川畑 大作 (2006), 地質の違いによる山地斜面の分析 - 近畿地方の四万十帯を例にして -, 地球, 号外・活断層・古地震とアクティブテクトニクス, 54, 64-69, 海洋出版

河田 恵昭・都司 嘉宣・林 春男・山根木 康之・田中 二郎・柏木 多美男 (1996), パネルディスカッション [南海地震に備える], 歴史地震, 12, 199-209, 歴史

地震研究会

河田 喜代助 (1939), 紀ノ川流域の”中央線”に沿ふ地質, 矢部教授還暦記念論文集 第1巻, 1, 39-53, 矢部教授還暦記念会

川上 裕・星 博幸 (2007), 火山-深成複合岩体にみられる環状岩脈とシート状貫入岩:紀伊半島, 尾鷲-熊野地域の熊野酸性火成岩類の地質, 地質学雑誌, 113, 7, 296-309

KAWASAKI Masashi (1980), Omine Acid Rocks, Kii Peninsula - Geology and Major Element Chemistry, Journal of the Japanese Association of Mineralogists, Petrologists and Economic Geologists, 75, 3, 86-101

KAWASAKI Masashi (1981), Omine Acid Rocks, Kii Peninsula - Petrogenesis -, Journal of the Japanese Association of Mineralogists, Petrologists and Economic Geologists, 76, 6, 195-206

川崎 正士 (1980), 紀伊半島大峯酸性岩-その鉱物学的研究-, 岩石鉱物鉱床学会誌, 75, 5, 146-159, 日本岩石鉱物鉱床学会

建設省土木研究所地すべり研究室 (1970), 地すべり分布図 (その9)-大阪府, 京都府, 滋賀県, 三重県, 奈良県, 和歌山県-, 地すべり, 7, 2, 33-33, 地すべり学会

木村 一郎 (1979), 宮川中流および下流の河岸段丘, 愛知教育大学研究報告 自然科学, 28, 119-132

木村 克己 (1986), 奈良県十津川村南部四万十累帯北帯の日高川層群-層序と古地理-, 地質学雑誌, 92, 3, 185-203

木村 克己・別所 孝範・公文 富士夫・鈴木 博之 (1996), 紀伊半島四万十累層群の上部白亜系竜神累層に挟まれる酸性凝灰岩のフィッション・トラック年代とその意義, 地質学雑誌, 102, 2, 116-124

木村 克己 (1992), 始新世-漸新世前期四万十累層群の堆積岩岩石区, 地質学論集・変動帯における碎屑岩類の組成と起源-日本列島を例として-, 38, 299-30, 日本地質学会

木村 克己・笹田 政克・広島 俊男・川畑 晶 (1992), 20万分の1地質図「木本」, 地質図, 1:200,000, NI-53-10, 1 sheet, 地質調査所

木村 克己 (2000), 四万十帯の付加体地質-奈良県南部を例にして-, 十津川災害111周年記念集会-斜面災害発生場所予測に向けて-, 5-11, 千木良 雅弘 (京都大学防災研究所)

木村 多喜生 (1993), 三重県熊野市遊木町産月長石とペグマタイ, 地学研究, 42, 3, 149-154, 日本地学研究会

木村 多喜生 (1992), 三重県熊野市新鹿町産くさび石及び鋭錐石, 地学研究, 41, 2, 105-108, 日本地学研究会

KIMURA Tatsuaki · KANSHA Yoshiyuki (1978), Early Cretaceous Plants from the Yuasa District and the Aridagawa Valley, Wakayama Prefecture, in the Outer Zone of Japan Part 2, Bulletin of the National Science Museum, Series C (Geology & Paleontology), 4, 4, 165-180

木村 隆行・磯野 陽子・鳥海 貴裕・今田 真治 (2009), CNS分析を用いた紀伊半島埋没谷における堆積環境の評価, 日本応用地質学会研究発表会講演論文集, 2009, 149-150

金属鉱物探鉱促進事業団 (1969), 精密調査報告書-紀の川地域-(昭和42年度), 83, 金属鉱物探鉱促進事業団

近畿地学会 (1991), 和泉山脈の白亜系化石写真集, 93, 1 sheet, 近畿地学会

近畿西部MTL研究グループ (1981), 和泉山脈東部の和泉層群の層序と構造, 地球科学, 35, 6, 312-320

木下 正高・月岡 哲 (2006), 深海巡航探査機「うらしま」の音響探査で描かれた泥火山の微細イメージ-熊野トラフ第5海丘(水深2,060-1,900m)-, Blue Earth, 18, 6, 1-1, 海洋研究開発機構

- 木下 正高・芦 寿一郎・木村 学・金松 敏也・倉本 真一 (2009), 紀伊半島沖南海トラフ地震発生帯から採取された浅部分岐断層, 地質学雑誌, 115, 9, XV-XVI
- 金原 信泰 (1902), 20 万分の 1 地質図幅「和歌山」および説明書, 地質図, 1:200,000, 55, 105, 1 sheet, 地質調査所
- 気象庁地震予知情報課 (1985), 1985 年 1 月 6 日和歌山・奈良県境付近の地震, 地震予知連絡会会報, 34, 340-342, 国土地理院
- 気象庁地震予知情報課 (2002), 熊野灘から三重県周辺の地震活動, 地震予知連絡会会報, 67, 345-346, 国土地理院
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1968), 紀伊半島四万十帯の研究 (その 2)-研究の現状と南方陸地の存在に関する一試論, 地球科学, 22, 5, 224-231
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1969), 紀伊半島南部海岸地域の層序と構造-紀伊半島四万十帯の研究 (その 3)-, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 19, 19-29, 2 sheets
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1970), 紀伊半島南部海岸地域の牟婁層群の堆積学的・古生物学的研究-紀伊半島四万十帯の研究 (その 4)-, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 20, 75-102, 2 sheets
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1972), 和歌山県古座川上流地域の牟婁層群-紀伊半島四万十帯の研究 (その 5)-, 地球科学, 26, 5, 195-204
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1973), 紀伊半島南部海岸地域 (里野-見老津間)の牟婁層群の層序と構造-紀伊半島四万十帯の研究 (その 6)-, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 23, 93-101, 2 sheets
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1976), 紀伊半島南部海岸地域 (里野~見老津間)の牟婁層群の堆積学的・古生物学的研究-紀伊半島四万十帯の研究 (その 7)-, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 25, 39-51, 2 sheets
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1977), 和歌山県竜神村南部の日高川層群-紀伊半島四万十帯の研究 (その 8)-, 地球科学, 31, 6, 250-262,
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1979), 紀伊半島南部海岸地域 (見老津-日置川間)の牟婁層群-紀伊半島四万十帯の研究 (その 9)-, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 28, 49-69, 2 sheets
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1983), 四万十帯日高川層群の寺杣層と白馬層について-紀伊半島四万十帯の研究 (その 10)-, 地球科学, 37, 5, 235-249
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1986), 紀伊半島西部中津村周辺の日高川層群美山累層-紀伊半島四万十帯の研究 (その 11)-, 地球科学, 40, 4, 274-293
- 紀州四万十帯団体研究グループ・木村 克己・鈴木 博之・石上 知良・坂本 隆彦・別所 孝範・中屋 志津男・公文 富士夫・徳岡 隆夫・中条 健次・久富 邦彦・谷口 純造・掃部 満・福田 修武・杭ノ瀬 雅文・森本 仁志・山本 俊哉 (2006), 和歌山県中西部の日高川帯の地質-紀伊半島四万十帯の研究 (その 13)-, 地球科学, 60, 5, 355-374
- 紀州四万十帯団体研究グループ・鈴木 博之・別所 孝範・福田 修武・浜塚 博・中屋 志津男・坂本 隆彦・谷口 純造・鈴木 稔和・山本 俊哉 (2008), 熊野層群基底部の放散虫化石年代-紀伊半島四万十帯の研究 (その 14)-, 地球科学, 62, 1, 57-61
- 紀州四万十帯団体研究グループ・鈴木 博之・別所 孝範・浜塚 博・中屋 志津男・坂本 隆彦・谷口 純造・鈴木 稔和・山本 俊哉 (2011), 紀伊半島・中新統熊野層群の泥ダイヤピル、特に前孤海盆南縁の巨大分岐断層群との関係について-紀伊半島四万十帯の研究 (その 15)-, 地球科学, 65, 1, 1-16
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1975), 四万十帯地帯の発展史, 地団研専報・地帯斜の諸問題, 19, 143-156, 地学団体研究会

- 紀州四万十帯団体研究グループ (1976), 紀伊半島四万十帯の研究 (1), -日高川帯上流の丹生ノ川層・竜神層-, 四万十地向斜に関する総合的研究 研究連絡誌第3号, 1-4
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1977), 和歌山県竜神村南部の日高川層群-紀伊半島四万十累帯の研究 (その8)-, 地球科学, 3, 6, 250-262
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1977), 白亜紀後期の四万十地向斜, 地団研専報-日本列島構造発達史の諸問題, 20, 140-141, 地学団体研究会
- 紀州四万十帯団体研究グループ (1986), 紀伊半島西部中津村周辺の日高川層群美山累層-紀伊半島四万十累帯の研究 (その11)-, 地球科学, 40, 4, 274-293
- 北 卓治・竹内 忠雄 (1993), 奈良県吉野地区マンガン鉱床調査報告 (1951), 地質調査所研究資料集, 2299, 17
- 北嶋 亜以子・和田 穰隆 (2010), 紀伊半島中央部, 中奥火砕岩岩脈の産状と形成過程-奈良県川上村中奥ヒボラ谷の例-, 地質学雑誌, 116, 9, 510-521
- 清野 信雄 (1920), 和歌山県龍門村新田地災, 地質調査所報告, 79, 88-90
- 清野 信雄 (1921), 和歌山県龍門村新田地災調査報文, 地質調査所報告, 81, 21-37
- 経済企画庁総合開発局 (1973), 土地分類図 (奈良県), 1:200, 000, 93, 9 sheets
- 建設省土木研究所地すべり研究室 (1970), 地すべり分布図 (その9), -大阪府, 京都府, 滋賀県, 三重県, 奈良県, 和歌山県-, 地すべり, 7, 2, 33-33, 地すべり学会
- 小島 郁生・小川 芳男 (1976), 白亜系有田層の化石層序, 国立科学博物館研究報告 C類 (地質学・古生物学), 2, 2, 93-110
- 児玉 敏孝 (1999), 地震と活構造, アーバンクボタ, 38, 36-41, クボタ
- 国土庁土地局 (1981), 土地保全図 (奈良県), 1:150, 000, 土地保全図 29, 135, 8 sheets
- 国土庁土地局国土調査課 (1985), 土地保全図 (和歌山県), 1:150, 000, 土地保全図 30, 79, 7 sheets
- 国土庁土地局国土調査課 (1997), 南紀地域主要水系利水現況図 (新宮川), 1:50, 000, 142, 3 sheets
- 国土庁土地局 (1999), 三重県地域主要水系利水現況図 (鈴鹿川・雲出川・櫛田川・宮川), 1:50, 000, 4 sheets
- 国土地理院 (1996), 都市圏活断層図 1:25, 000 (全45図),、札幌地区・仙台地区・首都圏北部地区・首都圏中部地区・首都圏南西部地区・中京地区・近畿圏北部地区・近畿圏中部地区・近畿圏西部地区・近畿圏南部地区・広島地区・小倉地区・福岡地区 45 sheets, 日本地図センター
- 国土地理院 (2000), 土地条件図「和歌山」, 1:25, 000, 土地条件図, 1:25, 000, 1 sheet
- KOMATSU Toshifumi (1999), Depositional environments and bivalve fossil assemblages of the Lower Cretaceous Arida Formation, southwest Japan, Journal of the Geological Society of Japan, 105, 9, 643-650
- 小林 昭夫・真砂 礼宏・吉田 明夫 (2002), 1946年南海地震直前の浦神の潮位変化, 測地学会誌, 48, 1, 1-12
- 小林 義美・岩橋 勉・林田 精郎 (1974), 貴志鉱山付近の電気探査-電気探査結果と地質との関係について-, 応用地学の進歩, 171-178, 岩津潤教授定年退職記念事業会
- 小村 幸二郎 (1960), 奈良県五条鉱山金屋淵鉱床について(予報), 地質調査所月報, 11, 4, 237-239
- 小村 幸二郎・大町 北一郎 (1960), 奈良県南部地域の放射能強度調査, 地質調査所月報, 11, 1, 60-60
- 小村 幸二郎 (1957), 奈良県吉野郡下の層状含銅硫化鉄鉱床概査報告, 地質調査所月報, 8, 1, 51-53
- 小村 幸二郎 (1959), 紀伊半島中部地域の層状含銅硫化鉄鉱床調査報告 (その1), 地質調査所月報, 10, 11, 963-969

- 小村 幸二郎 (1959), 紀伊半島中部地域の層状含銅硫化鉄鉱床調査報告 (その2), 地質調査所月報, 10, 11, 971-978
- 小鯛 桂一・高橋 誠 (1991), 深発地震による地下水中ラドン濃度の変化-東海地震地域の遠州灘・紀伊半島南東沖間の地震に対して-, 地質ニュース, 437, 26-32, 実業公報社
- 紺田 功・千地 万造 (1989), 紀伊半島田辺湾における最近の有孔虫群集の変化, 日本列島の有孔虫, 105-110, 東光印刷出版部
- KONDA Isao (1969), Foraminiferal Faunule from the Akugawa Shell Bed, Kii Peninsula, Central Japan (Studies on Japanese Pleistocene Foraminifera 6), Bulletin of the Osaka Museum of Natural History, 22, 86-96
- 近藤 観慈・林 拙郎・沼本 晋也 (2004), 2004 (平成16)年台風21号による三重県宮川村の斜面災害, 日本地すべり学会誌, 41, 4, 419-422
- 工藤 斉 (1932), 白良浜踏査報告, 白浜 湯崎温泉叢書 科学文献篇 (昭和7年版), 46-48, 紀南の温泉社, 田辺町
- 公文 富士夫 (1985), 紀伊半島の四万十累帯研究の現段階と課題 地球科学, 39, 1, 57-73
- 公文 富士夫 (1985), 紀伊半島の四万十累帯研究の現段階と課題 地球科学, 39, 1, 57-73
- 公文 富士夫・松山 尚典・中条 健次 (1986), 紀伊半島四万十累帯日高川層群の改訂ジュラ紀最後期-白亜紀放射虫化石群集, 化石, 41, 17-27, 日本古生物学会
- KUMON Fujio · MATSUYAMA Hisanori · MUSASHINO Makoto (1997), An oceanic fragment in the Upper Cretaceous Miyama Formation of the Shimanto Belt, Kii Peninsula, Japan, Memoirs of the Geological Society of Japan · Cretaceous Environmental Change in East and South Asia (IGCP350), - Contributions from Japan -, 48, 100-109, Geological Society of Japan
- 公文 富士夫 (1985), 紀伊半島の四万十累帯研究の現段階と課題 地球科学, 39, 1, 57-73
- 公文 富士夫・龍野 敏晃 (2000), 紀伊半島四万十帯, 音無川層群のタービダイト砂岩の化学組成, 地質学論集・砕屑岩組成と堆積造構環境, 57, 91-96, 日本地質学会
- KUNUGIZA Keitaro (1982), Formation of zoning of olivine with progressive metamorphism of serpentinite - an example from the Ryumon peridotite body of the Sanbagawa metamorphic belt, Kii peninsula, Journal of the Japanese Association of Mineralogists, Petrologists and Economic Geologists, 77, 5, 157-170
- 栗本 史雄 (1982), 和歌山県高野山南西方のいわゆる秩父系-上部白亜系花園層-, 地質学雑誌, 88, 11, 901-914
- 栗本 史雄 (1993), 和歌山県北東部の三波川・黒瀬川・四万十帯構成岩類の K-Ar 年代, 地質調査所月報, 44, 6, 367-375
- 栗本 史雄 (1995), 和歌山県北部の三波川変成岩類の K-Ar 年代, 地質調査所月報, 46, 10, 517-525
- 栗本 史雄 (1986), 和歌山県清水-美里地域の秩父累帯北帯, 地質学雑誌, 92, 10, 737-748
- 栗本 史雄 (1986), 和歌山県美里地域の毛原層-三波川帯と秩父累帯の境界に関連して-, 地質調査所月報, 37, 7, 381-389
- 栗本 史雄・牧本 博・吉田 史郎・高橋 裕平・駒沢 正夫 (1998), 20 万分の1 地質図幅「和歌山」, 地質図幅, 1:200,000, NI-53-15, 1 sheet, 地質調査所
- KURIMOTO Chikao (1994), Geology of the Kudoyama area in the western Kii Peninsula, Southwest Japan, with reference to disappearance of the Chichibu terrane, Bulletin of the Geological Survey of Japan, 45, 5, 235-255
- KUNUGIZA Keitaro (1982), Formation of zoning of olivine with progressive metamorphism of serpentinite - an example from the Ryumon peridotite body of the Sanbagawa metamorphic belt, Kii peninsula, Journal of the Japanese Association of Mineralogists, Petrologists and Economic Geologists, 77, 5, 157-170
- 黒川 和美 (1972), 紀伊半島南部海岸地域牟婁層群のフリッシュに見られる単層内部堆積構造, 地球科学, 26, 6, 235-242

[M]

- 前島 渉・吉倉 紳一 (1976), 和歌山県湯浅北方のペルム系浮石層の礫岩, 地質学雑誌, 82, 10, 643-654
- 前島 渉・前田 哲夫 (1977), 和歌山湯浅北方秩父累帯北帯”古生層”からのトリアス紀コノドント化石の発見とその意義, 地質学雑誌, 83, 9, 599-600
- 前島 渉 (1978), 紀伊半島西部湯浅北方地域の秩父累帯北帯における結晶片岩類の構造的産状, 地球科学, 32, 4, 175-184
- 前島 渉 (1983), 前期白亜紀湯浅層の陸成堆積物-特に網状河川堆積物にみられる堆積サイクルについて-, 碎屑性堆積物の研究, 2, 23-32, 碎屑性堆積物研究会
- 前島 渉 (1982), 湯浅層(高知統)中の礫質海浜堆積相, 碎屑性堆積物の研究, 1, 17-22, 碎屑性堆積物研究会
- MAEJIMA Wataru (1983), Prograding Gravelly Shoreline Deposits in the Early Cretaceous Yuasa Formation, Western Kii Peninsula, Southwest Japan, Journal of the Geological Society of Japan, 89, 11, 645-660, Geological Society of Japan
- 前空 英明・坪野 賢一郎 (1990), 紀伊半島南部の完新世地殻変動, 地学雑誌, 99, 4 (no.905), 349-369, 東京地学協会
- 間倉 美幸 (1974), 和歌山県有田郡湯浅町の有田層より産出した生痕化石 Zophycos, 地質学雑誌, 80, 8, 381-382
- 松田 文彰 (1984), 紀伊半島中東部, 秩父帯の海底地すべりデッケ群とオリストストローム, 地質学雑誌, 90, 4, 245-260
- 松本 孝之 (2001), 奈良県吉野郡大淀町における更新統菖蒲谷層上部層 (“五条層”)を切る中央構造線の露頭, 地球科学, 55, 3, 187-191
- 松山 尚典・公文 富士夫・中條 健次 (1982), 紀伊半島四万十帯日高川層群の白亜紀放射虫化石, 大阪微化石研究会誌, 特別号・放射虫研究集会論文集 (第1回), 5, 371-382
- 米谷 恒春・森脇 寛・清水 文健 (1983), 1982 年台風第 10 号と直後の低気圧による三重県一志郡の土石流災害および奈良県西吉野村和田地すべり災害調査報告, 主要災害調査, 22, ii, 70, 国立防災科学技術センター
- 真島 英寿 (2008), 新正裕尚ほか著「紀伊半島中新世珪長質火成岩類の全岩組成の広域的变化, 地質学雑誌, 113, 310-325」への討論, 地質学雑誌, 114, 7, 382-383
- MAKINO Kuniaki・YANAGIDA Takeshi・YAMAGUCHI Yoshiaki (1997), Ti-rich hornblende in successively zoned amphibole from thermally metamorphosed basaltic rock in the Shionomisaki igneous complex, Earth Science (Chikyu Kagaku), 51, 3, 223-227
- 牧野 泰彦 (1976), 紀伊山地中央部柏木地域の秩父系の層序の再検討, 地質学雑誌, 82, 5, 297-310
- 益子 安・甘露寺 泰雄・細谷 昇 (1964), 温泉の地球化学的研究 第 10 報-白浜温泉の化学成分に就て-, 温泉科学, 15, 1, 16-29
- 益富 寿之助 (1945), 和歌山県小原山含銅硫化鉄鉱床, 日本鉱物趣味の会研究報告, 1, 5, 71-80, 日本鉱物趣味の会
- 松原 聡・千葉 とき子・益増 寿之助・野村 松光・亀井 玄人 (1977), 奈良県五代松鉱山産鉄緑閃石, 地学研究, 28, 4/6, 161-165, 日本地学研究会
- 松原 聡・加藤 昭・木村 多喜生 (1992), 熊野酸性岩中の鉄堇青石, 地学研究, 41, 4, 210-214, 日本地学研究会
- 松田 文彰 (1984), 紀伊半島中東部, 秩父帯の海底地すべりデッケ群とオリストストローム, 地質学雑誌, 90, 4, 245-260
- 松本 達郎 (1947), 和歌山県湯浅町附近古白亜系産菊石類化石について, 九州大学理学部研究報告 (地質学之部), 2, 1, 13-19
- 松本 達郎 (1947), 西南日本外帯地質構造発達史に関する新知見-和歌山県有田川流域の地質学的研究-, 九州大学理学部研究報告 (地質学之部), 2, 1,

- 松本 達郎・吉松 敏隆 (1982), 四万十帯の寺杣層模式地域より産したイノセラムスとアンモナイト, 化石, 32, 1-18, 日本古生物学会
- 松本 孝之 (2008), 和歌山県橋本市の工事現場に出現した中央構造線菖蒲谷断層の露頭, 応用地質, 49, 1, 34-37
- 松本 孝之 (2009), 紀伊半島西部の下部白亜系有田層から産出した花粉・孢子化石, 地球科学, 63, 6, 365-369
- 松尾 友太・此松 昌彦・久富 邦彦 (2005), 和歌山県南部町に分布する目津累層の古環境復元, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 55, 5-13
- 松山 尚典・公文 富士夫・中條 健次 (1982), 紀伊半島四万十帯日高川層群の白亜紀放散虫化石, 大阪微化石研究会誌, 特別号・放散虫研究集会論文集 (第1回), 5, 371-382
- 三重県地域振興部県土利用・水資源・流域圏推進チーム・目崎 茂和・岩田 修二・山田 純・安田 典夫・野々田 稔郎・安食 和宏・森 和紀 (2002), 土地分類基本調査「高見山・大台ヶ原」, 土地分類基本調査, 1:50, 000, 21, 5 sheets
- 三重県企画振興部政策調整課・目崎 茂和・岩田 修二・山田 純・安田 典夫・野々田 稔郎・安食 和宏・森 和紀 (2002), 土地分類基本調査「十津川・木本・新宮・阿田和」, 土地分類基本調査, 1:50, 000, 31, 5 sheets
- 三雲 健・大塚 道男・尾池 和夫 (1968), 和歌山地方の地殻構造と微小地震の発震機構 (序報), 京都大学防災研究所年報, 11A, 65-66
- 三橋 明・廉沢 宏・吉川 宗治・岩崎 好規・藤田 和夫 (2000), 音波探査による紀伊水道及び紀伊半島南岸沖海域の活構造, 海洋調査技術, 12, 2, 11-29, 海洋調査技術学会
- 溝塩 大洗・欽崎 智弘・栗林 知史 (1998), 紀伊半島における前期更新世の塔島層, 高知大学学術研究報告 自然科学, 47, 49-57
- 溝塩 大洗 (2002), 四国の第四系総括-西南日本での調査地域の対比に関連して-, 高知大学学術研究報告 自然科学編, 50, 25-65
- 水谷 法美・岩田 好一郎 (2004), 熊野川河口域における海岸侵食と対策について, 海洋, 36, 3, 205-210, 海洋出版
- MIZOUE Megumi · NAKAMURA Masao · SETO Norihiko · ISHIKETA Yukio · YOKOTA Takashi (1983), Three-layered Distribution of Microearthquakes in Relation to Focal Mechanism Variation in the Kii Peninsula, Southwestern Honshu, Japan, Bulletin of the Earthquake Research Institute, University of Tokyo, 58, 2, 287-310
- 溝上 恵・中村 正夫 (1988), 日本における学術ボーリング候補地 (7), 和歌山平野—その特質—, 地球・陸上学術ボーリング(2), 10, 4, 277-288, 海洋出版
- 溝上 恵・中村 正夫・小谷 啓子 (1973), 紀伊半島北西部における地震活動の特性-小地震および微小地震の空間分布から推定される活断層系について-, 関東大地震 50 周年論文集, 199-216, 東京大学地震研究所
- 水垣 桂子 (1987), 紀伊半島東部礫浦の礫岩 (四万十累層群)の中中生代放散虫化石, 名古屋大学総合研究資料館報告, 3, 19-85
- 宮石 修・李 勇・港 種雄 (1980), 奈良県五代松鉦床におけるスカルンの産状, 日本鉱業会誌, 96, 1113, 789-794, 日本鉱業会
- 宮地 良典 (1990), 紀伊半島四万十累帯牟婁帯にみられる大規模斜交葉理砂岩, 地質学雑誌, 96, 10, 869-872
- 三宅 恒夫・山本 武夫 (1938), 昭和 13 年 1 月 12 日和歌山県田辺沖強震地域踏査報告, 験震時報, 10, 2, 281-286, 中央气象台
- 三宅 康幸 (1978), 潮岬における酸性・塩基性火成活動, Magma, 53, 22-26, 火成作用研究会
- 三宅 康幸 (1981), 和歌山県潮岬火成複合岩体の地質と岩石, 地質学雑誌, 87, 6, 383-403
- 三宅 康幸 (1982), 和歌山県潮岬の塩基性貫入岩中の単斜輝石の累帯構造に見られる Ca 増加経路, 地球科学, 36, 2, 94-100
- 三宅 康幸・石川 尚人・石田 志朗・鳥居 雅之 (1985), 中新統・田辺層群に貫入した高マグネシウム安山岩岩脈の発見, 地質学雑誌, 91, 8, 573-576

三宅 康幸 (1987), 四万十帯の中新世火成活動の成因—マグマの起源マントルとその運動—, 地球・地質モデルの構成 (1),—表層現象から深層現象へ—, 9, 5, 286–289, 海洋出版

MIYATA Takao · SUDO Munetaka (1979), Grain-size distribution of fault gouge in the Cretaceous Izumi Group along the Median Tectonic Line in Hashimoto City, Wakayama Prefecture, Southwest Japan, Ronshu, College of Liberal Arts, Kobe University, 23, 59–73

宮田 隆夫・前島 渉・前野 伸一・大平 善継・大西 一久 (1973), 和歌山県橋本市付近の中央構造線の運動像—特に Model 実験と比較して—, 構造地質研究会誌, 15, 14–14, 構造地質研究会

宮田 隆夫 (1973), 紀伊半島西部における和泉層群の地質構造と中央構造線との関係, 構造地質研究会誌, 14, 17–17, 構造地質研究会

宮田 隆夫・牧本 博・寒川 旭・市川 浩一郎 (1993), 和歌山及び尾崎地域の地質, 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅), 11 Kyoto, 72/80, iii, 68, 2 sheets, 地質調査所

宮田 雄一郎・三宅 邦彦・田中 和広 (2009), 中新統田辺層群にみられる泥ダイヤピル類の貫入構造, 地質学雑誌, 115, 9, 470–482

三好 力 (1969), 和歌山の観測資料からみた近畿周辺の地震活動域について, 験震時報, 34, 1/2/3, 77–85, 気象庁

MIZUNO Atsuyuki (1953), Notes on the Miocene Molluscs from the Kumano Group in the South-Eastern Kii Peninsula, Japan, with Descriptions of Three New Species, Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series, 9, 9–18

水野 篤行 (1966), 南紀海岸の地質見学 2, 地質ニュース, 141, 8–20, 実業公報社

水野 篤行 (1957), 5 万分の 1 地質図幅「那智」及び説明書, 地質図幅, 1:50, 000, 11 Kyoto, 107, 40, 1 sheet, 地質調査所

水野 篤行・今井 功 (1964), 5 万分の 1 地質図幅「田並」及び説明書, 地質図幅, 1:50, 000, 11 Kyoto, 108, 66, 1 sheet, 地質調査所

水野 恵司・美波 由紀子・辻本 英和・藤井 稔・西村 伸之 (1995), 和歌山県田辺市ひき岩群にみられる組織地形, 大阪教育大学地理学報, 30, 29–44

水野 恵司・松倉 公憲 (1999), 和歌山県田辺市の「ひき岩群」に見られるケスタ地形形成に関与する岩石物性と風化の影響, 地形, 20, 5, 571–588

水野 恵司 (1996), 和歌山県田辺市ひき岩群にみられる組織地形と風化状況, 大阪教育大学地理学報, 31, 1–16

水野 恵司 (1997), 和歌山県田辺市ひき岩群にみられる風化度と岩石物性, 大阪教育大学地理学報, 32, 1–9

水野 恵司・林 育史・藤川 隆之 (2005), 和歌山県南東部, 泥質岩地域における河川営力と岩盤河床形態, 地理学報, 1–9, 大阪教育大学地理学教室

水野 清秀・佃 栄吉・宮地 良典 (1998), 和歌山平野伏在活断層のボーリング調査 (補備調査), 地質調査所速報・活断層・古地震研究調査概要報告書 (平成 9 年度), EQ/98/1, iv–iv, 179–186

水野 清秀・佃 栄吉・高橋 誠・百原 新・内山 高 (1999), 和歌山平野根来地区深層ボーリング調査から明らかになった平野地下の地質, 地質学雑誌, 105, 3, 235–238

水野 清秀・寒川 旭・佃 栄吉 (2000), 中央構造線活断層系根来断層の活動履歴に関する補備調査—上黒谷 No.4 トレンチ調査—, 地質調査所速報・活断層・古地震研究調査概要報告書 (平成 11 年度), EQ/00/2, 207–220

望月 公広・藤江 剛・佐藤 利典・笠原 順三 (2005), 紀伊半島沖南海トラフ沿い東南海・南海地震断層境界における, 地殻構造不均質, 地球, 号外・沈み込み帯の科学と海洋観測技術, 51, 66–73, 海洋出版

桃山町産業振興課 (1997), 桃山町土地分類調査 (細部調査) 報告書, 146, 桃山町(和歌山)

森本 仁志・福田 修武・久富 邦彦・宮地 良典・石上 知良・中条 健次・中屋 志津男・山本 俊哉・はてなし (2) 団体研究グループ (1995), 紀伊半島牟婁帯

北縁部の古第三系牟婁層群の堆積環境復元, 地球科学, 49, 5, 313-331

森岡 靖 (1972), 和歌山県大勝鉱山, 奈良県堂ヶ谷鉱山, および和歌山県大塔鉱山の近況, 地学研究, 23, 7/8, 195-200, 日本鉱物趣味の会

森岡 靖 (1977), 和歌山県の三陽鉱山について, 地学研究, 28, 7/9, 275-278, 日本地学研究会

森岡 靖 (1984), 奈良県吉野郡十津川村の金属鉱床, 地学研究, 34, 1/6, 43-52, 日本地学研究会

森岡 靖 (1985), 和歌山県日高川流域にある金属鉱床, 地学研究, 36, 1/6, 45-51, 日本地学研究会

森田 稔 (1937), 昭和6年6月30日熊野灘深発地震に現われたる東西日本の特異性, 駿震時報, 9, 4, 231-251, 中央气象台

森山 浩 (2003), 地質委員会 地質研修会報告-紀伊半島の秩父帯と付加複合体を特徴づける岩石-, 石灰石, 321, 73-77, 石灰石鉱業協会

守山 武・神谷 雅晴・寺岡 易司・奥村 公男・平野 英雄・村上 浩康・渡辺 寧 (2007), 紀伊半島西部, 四万十帯北帯におけるアンバーとマンガン鉱床の堆積環境と希土類資源, 地質調査研究報告, 58, 11/12, 389-410, 産業技術総合研究所地質調査総合センター

両角 芳郎 (1970), 紀伊由良東方の地質-特に仏像構造線付近の日高川層群について-, 大阪市立自然科学博物館研究報告, 23, 11-18

MOROZUMI Yoshiro (1970), Upper Cretaceous Inoceramus from the Shimanto Belt of the Kii Peninsula, Bulletin of the Osaka Museum of Natural History, 23, 19-24

本島 公司・柴田 賢・宮村 学・阿部 智彦 (1969), 阪神地域および紀伊半島西部地域のヘリウム資源について, 地質調査所月報, 20, 5, 329-342

村橋 吉晴 (1997), 日本の地盤-奈良県の地盤-, 地質と調査, 74, 47-55, 土木春秋社

村上 仁士・伊藤 禎彦・山本 尚明・佐藤 広章 (1996), 紀伊半島・四国沿岸における津波の危険度に関する考察, 海岸工学論文集, 43, 1, 316-320, 土木学会

村上 仁士・山本 尚明・上月 康則・後藤田 忠久 (1997), 大阪湾 紀伊水道における津波の伝播特性に関する研究, 徳島大学工学部研究報告, 42, 17-26

村上 仁士・上月 康則・倉田 健悟・杉本 卓司・吉田 和郎 (2002), 紀伊水道・豊後水道における安政南海地震津波の進入特性, 歴史地震, 17, 110-116, 歴史地震研究会

村上 武志 (1991), 和歌山市東方の三波川変成岩類と超苦鉄質岩, 島根大学地質学研究報告・島田いく郎教授退官記念論誌集, 10, 1-9

村岡 洋文 (2008), 和歌山県本宮温泉地域の中新世貫入岩類の K-Ar 年代と化学組成, 地質調査研究報告, 59, 1/2, 27-43

村田 明広・千木良 雅弘 (2000), 紀伊四万十帯で発生した十津川災害における大規模崩壊の地質特性, 十津川災害111周年記念集会-斜面災害発生場所予測に向けて-, 12-17, 千木良 雅弘 (京都大学防災研究所)

村田 明広・千木良 雅弘 (2000), 紀伊四万十帯で発生した十津川災害における大規模崩壊の地質特性, 十津川災害111周年記念集会-斜面災害発生場所予測に向けて-, 12-17, 千木良 雅弘 (京都大学防災研究所)

村田 明広・田村 実・山北 聡・中村 洋子・伊藤 谷生 (2002), 紀伊半島西部, 有田川構造線沿いに分布する泥岩から白亜紀二枚貝の発見, 構造地質, 46, 25-28, 構造地質研究会

村田 明広・千木良 雅弘 (2000), 紀伊四万十帯で発生した十津川災害における大規模崩壊の地質特性, 構造地質, 44, 59-62, 構造地質研究会

村田 守 (1982), 紀伊半島中部, 大峯地域の S タイプおよび I タイプ花崗岩質岩, 岩石鉱物鉱床学会誌, 77, 8, 267-277

村田 守・吉田 武義・青木 謙一郎 (1983), 紀伊半島中部, 大峯地域に分布する 2 種類の 1 タイプ花崗岩質岩の微量化学組成, 核理研研究報告, 16, 2, 294-300, 東北大学理学部原子核理学研究施設

- 村田 守 (1984), 紀伊半島中部, 大峯地域の中新世IタイプおよびSタイプ花崗岩質岩の岩石学, 岩石鉱物鉱床学会誌, 79, 9, 351-369
- 村田 守・吉田 武義 (1985), 紀伊半島中部大峯地域の中新世IタイプおよびSタイプ花崗岩質岩の微量化学組成, 岩石鉱物鉱床学会誌, 80, 6, 227-245
- 村山 正郎 (1954), 5万分の1地質図幅「新宮・阿田和」及び説明書, 地質図幅 1:50,000, 11 Kyoto, 103, 104, 33, 2 sheets, 地質調査所

[N]

- 那智勝浦町地学教育研究会 (1981), 地学図解資料集2・熊野の大地の歴史, 31, 那智勝浦町地学教育研究会
- 長田 敏明・寺井 一夫・佐瀬 和義・中屋 志津男・金 光男 (2002), 和歌山県の中新統田辺層群白浜累層下部より産出した多毛類化石, 地球科学, 56, 3, 145-151
- 永田 秀尚・飯沼 達夫・萩原 陽一郎 (2009), 2004年台風21号豪雨により三重県宮川村で発生した表層崩壊地の地形と表層地質特性, 日本地すべり学会誌, 46, 3, 181-187
- 永田 秀尚・柏木 健司・飯沼 達夫・萩原 陽一郎 (2010), 2004年台風21号豪雨により三重県宮川村で発生した岩盤崩壊の地質素因, 日本地すべり学会誌, 47, 2, 98-106
- 永田 秀尚・沼本 晋也・柏木 健司・飯沼 達夫 (2010), 2004年台風21号による豪雨で発生した宮川上流大杉峡谷での岩盤斜面崩壊, 日本地すべり学会誌, 47, 5, 283-288
- 永田 秀尚・飯沼 達夫・萩原 陽一郎 (2005), 2004年台風21号による三重県宮川村でのランドスライド分類といくつかの例ー, 日本応用地質学会研究発表会講演論文集, 2005, 33-36
- 長沢 良太 (1982), 紀伊田辺平野における先・原史時代の遺跡立地とその古地理, 人文地理, 34, 3, 276-287
- 名古屋大学災害対策室・名古屋大学環境学研究科附属地震火山・防災研究センター (2005), 2004年9月5日に発生した2つの紀伊半島南東沖の地震について, 歴史地震, 20, 116-116, 歴史地震研究会
- 中島 庸之・牧野 高吉 (1952), 1950年4月26日熊野川中流域の地震踏査報告, 験震時報, 16, 2, fr.1-fr.2, 1-5, 中央气象台
- 中島 和一・田中 啓策 (1967), 和泉山脈中部の和泉層群における含沸石凝灰岩, とくに含モルデン沸石凝灰岩および濁沸石凝灰岩, 地質学雑誌, 73, 5, 237-245
- 中島 隆・小泉 尚嗣・下司 信夫・及川 輝樹・新正 裕尚・三浦 大助・角井 朝昭・重松 紀生・北川 有一 (2010), 熊野井内浦掘削コアから推測する中期中新世熊野酸性岩北岩体の垂直構造と定置過程, 地質学雑誌, 116, 7, 374-387
- 中村 重久 (1987), 和歌山の歴史津波, 地球・歴史津波ー挙動とメカニズムー, 9, 4, 220-224, 海洋出版
- 中村 重久 (1987), 北太平洋西部の印南沿岸 (和歌山県), における津波, うみ, 25, 4, 190-192, 日仏海洋学会
- 中村 重久 (1989), 1707宝永津波のための山内村全村流亡, うみ, 27, 1/2, 72-76, 日仏海洋学会
- 中村 重久 (1993), 和歌山県周参見浦の津波資料について, うみ, 31, 1, 37-39, 日仏海洋学会
- 中村 雅胤 (2001), 和歌山県の温泉, 温泉科学, 51, 3, 89-97, 日本温泉科学会
- 中村 久由・前田 憲二郎・鈴木 孝 (1958), 紀伊半島中南部地方の温泉群について, 地質調査所月報, 9, 5, 357-370

- 中村 佳重郎 (1995), 東海および紀伊半島での精密重力測定, 地球, 号外・重力・測地・ジオダイナミックス—中川一郎教授退官記念号—, 11, 55-61, 海洋出版
- 中西 一郎・土佐 圭・荒島 千香子 (1998), 平成 10 年 6 月 23 日三重奈良県境を震源とする地震の震度分布, 歴史地震, 14, 115-121, 歴史地震研究会
- 中野 茂暢・桂 郁雄・西田 潤一・山田 悦久・西村 進 (1995), 奈良県五条市付近での重力探査—中央構造線近傍の地下構造—, 地震 第 2 輯, 48, 1, 11-26, 地震学会
- 長久保 定雄 (2009), 2003 年度海上基礎試錐「東海沖～熊野灘」, 地学雑誌, 118, 5, xix-xix, 東京地学協会
- 長沢 良太 (1983), 田辺湾沿岸の海岸地形の形成過程と後期完新世海面変化, 東北地理, 35, 1, 11-19
- 中屋 志津夫・原田 哲朗・吉松 敏隆 (1999), 紀伊半島四万十帯の地質図 (25 万分の 1), アーバンクボタ, 38, 1 sheet, クボタ
- 中屋 志津男・吉松 敏隆 (1999), 目で見る紀伊半島の基盤岩, アーバンクボタ, 38, 2-3, クボタ
- 中屋 志津男 (1999), 地形, アーバンクボタ, 38, 4-7, クボタ
- 中屋 志津男 (1999), 紀伊半島の地質-4 四万十帯, アーバンクボタ, 38, 20-27, クボタ
- 中屋 志津男 (1999), 紀伊半島の地質-6 中新世の火成岩類, アーバンクボタ, 38, 30-31, クボタ
- 中屋 志津男 (1999), 四万十帯の屈曲構造, アーバンクボタ, 38, 32-35, クボタ
- 中屋 志津男 (2006), 紀伊半島四万十帯奇絶峡地域の古第三系音無川付加体の屈曲構造, 地球科学, 60, 2, 113-129
- 中屋 志津男・浜田 好弘 (2009), 紀伊半島南部の下部中新統田辺層群の古期泥火山, 地学雑誌, 118, 3, 472-491
- 中山 勇 (1960), 三波川帯の造構造運動と岩石構造, 地団研専報, 10, 40, 地学団体研究会
- 中山 勇・加治 敦次・高須 晃 (1983), 四国東部および紀伊半島西部の三波川帯の苦鉄質・超苦鉄質貫入岩について— (その 1) 四国東部の三波川帯の苦鉄質・超苦鉄質貫入岩について—, 地球科学, 37, 5, 262-274
- 中山 勇 (1983), 四国東部および紀伊半島西部の三波川帯の苦鉄質・超苦鉄質貫入岩について— (その 2) 紀伊半島西部の三波川帯の苦鉄質・超苦鉄質貫入岩と三波川帯四国区での三波川帯の形成と貫入岩との関係について—, 地球科学, 37, 6, 312-328
- 中山 正民・福本 紘 (1967), 熊野浦海岸における海浜微地形および海浜堆積物分布とそれらの季節変動, 海洋科学, 9, 81-113
- NAKAZAWA Keiji · KUMON Fujio · KIMURA Katsumi (1979), Occurrence of Cretaceous Shallow-Sea Bivalves from the Northern Border of Shimant Terrain, Kii Peninsula, Southwest Japan, Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series, 113, 15-29
- NAKAZAWA Keiji · YOSHIMATSU Toshitaka · TERAJ Kazuo · MORI Joji (1980), Trace fossils of the Paleogene Otonashigawa Group in Kii Peninsula, Southwest Japan, Professor Saburo Kanno Memorial Volume, 343-354, 菅野三郎教授退官記念会
- 中沢 圭二・横山 次郎 (1968), 日高郡美山村, 和歌山県温泉調査報告—日高郡美山村—, 15, 和歌山県衛生部
- 中沢 圭二・松山 尚典・公文 富士夫 (1983), 四万十帯のオリストストローム層序と形成機構, 海洋科学, 15, 8, 448-452, 海洋出版
- 奈良県 (1985), 土地分類基本調査「吉野山」, 土地分類基本調査, 1:50, 000, 65, 6 sheets
- 奈良県 (1987), 土地分類基本調査「高見山・大台ヶ原山」, 土地分類基本調査, 1:50, 000, 74, 4 sheets, 奈良県企画部開発調整課
- 奈良県 (1987), 土地分類基本調査「山上ヶ岳」, 土地分類基本調査, 1:50, 000, 65, 4 sheets, 奈良県企画部開発調整課
- 奈良県 (1990), 土地分類基本調査「伯母子岳」, 土地分類基本調査, 1:50, 000, 43, 4 sheets, 奈良県企画部開発調整課

- 奈良県 (1994), 土地分類基本調査「竜神・十津川」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 49, 4 sheets, 奈良県企画部開発調整課
- 奈良県 (1994), 土地分類基本調査「釈迦岳・尾鷲」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 64, 4 sheets, 奈良県企画部開発調整課
- 奈良県 (1995), 土地分類基本調査「五條・高野山」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 67, 4 sheets, 奈良県企画部開発調整課
- 奈良県河川課 (1983), 和田地すべり, 地すべり, 19, 4, 20-21, 地すべり学会
- 奈良県教育委員会文化財保存課 (1998), 奈良県の地質鉱物-奈良県地質鉱物緊急調査報告書-, 149
- 奈良県教育委員会 (1998), 奈良県の地質鉱物-奈良県地質鉱物緊急調査報告書- (別冊写真集), 8
- 那須 信治・白井 俊明・川島 正治・大内 秋三・高橋 龍太郎・岸上 冬彦・池上 良平・秋間 哲夫 (1947), 昭和二十一年十二月二十一日南海大地震津波調査概報 (和歌山県之部), 東京帝国大学地震研究所研究速報・昭和21年12月21日南海大地震調査報告 (第1報), 5, 98-131
- NATORI Hiro'o (1964), Some Molluscan Fossils from the Tertiary Muro Group in the Kii Peninsula, Japan, Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series, 55, 247-255
- 日本気象協会 (1967), 全国地学の旅-和歌山県-, 地球の科学, 6, 1, 52-53
- 日本鉱産誌編集委員会 (1960), 熊野炭田, 日本鉱産誌 BV-a-主として燃料となる鉱石-石炭-, 433-438, 地質調査所
- 日本地熱資源開発促進センター (1976), 地熱開発精密調査報告書 No.9-紀伊山地- (昭和50年度), iii, 57
- 日本鉱産誌編集委員会 (1960), 熊野炭田, 日本鉱産誌 BV-a-主として燃料となる鉱石-石炭-, 433-438, 地質調査所
- 日本鉱山地質学会 (1967), 三重県紀州鉱山の地質と鉱脈構造, 鉱山地質, 17, 4, fr.1-fr.2
- 西田 史朗 (1969), 紀伊山地中央部・洞川周辺の石灰岩, 奈良教育大学紀要 (自然科学), 18, 2, 93-98
- 西田 史朗・紺田 功 (1974), 石灰質微化石からみた紀伊半島・四国沖の底質, 奈良教育大学紀要 (自然科学), 23, 2, 51-91
- 西田 史朗・原田 憲一 (1987), 熊野灘のアカホヤ火山灰, 奈良教育大学紀要 (自然科学), 36, 2, 29-38
- 西田 史朗・畑田 尚起 (1990), 紀伊半島中央部大峯山地の放散虫化石群衆, 奈良教育大学紀要 (自然科学), 39, 2, 11-27
- 西田 史朗 (2010), 奈良の地学-記録と随想-, vi, 231, 地域自然誌研究会
- 西村 進・西田 潤一・桂 郁雄・中野 茂陽 (1991), 奈良市・五條市付近の中央構造線, 西南日本内帯における主要活断層調査, 169-181, 西南日本内陸地震予知研究会
- 西村 進 (2000), 紀伊半島における前弧火成作用と温泉, 温泉科学, 49, 4, 207-216
- 西村 進 (2001), 紀伊半島の温泉とその熱源, 温泉科学, 51, 3, 98-107
- 西村 進・桂 郁雄・西田 潤一 (2009), 近畿地方中・南部の高温泉とその地質構造 (1)-白浜温泉と有馬温泉の探査の結果から-, 温泉科学, 59, 2, 103-111
- 西村 進・城森 明・川崎 逸男・西田 潤一・桂 郁雄 (2010), 近畿地方中・南部の高温泉とその地質構造 (2)-白浜温泉と有馬温泉の電磁探査の結果から-, 温泉科学, 60, 2, 145-160
- 西村 進 (2011), 近畿地方の高温泉とその地質構造, 温泉科学, 60, 4, 481-491, 日本温泉科学会
- 西岡 芳晴・中江 訓・竹内 圭史・坂野 靖行・水野 清秀・尾崎 正紀・中島 礼・実松 健造・名和 一成・駒沢 正夫 (2010), 20万分の1地質図幅「伊勢」, 地質図幅, 1:200,000, NI-53-9, 1 sheet, 産業技術総合研究所地質調査総合センター
- 西山 賢一・吉田 顕・横田 修一郎 (2009), 和歌山県に分布する中新世凝灰岩の急崖に発達するタフォニの分布と形状, 徳島大学総合科学部自然科学研

究, 23, 47-63

野本 健吉 (1984), 和歌山県妙法鉱床の割目系と鉱石鉱物の帯状分布, 鉱山地質, 34, 3, 163-172, 日本鉱山地質学会

野村 康裕・藤沢 和範 (2006), 地すべりの運動特性を考慮したリスクマネジメントに関する一考察-奈良県大塔村で発生した地すべり道路災害を例として-, 日本地すべり学会誌, 42, 6, 467-474

[O]

OBATA Ikuwo · SAKA Yukiyasu · MATSUKAWA Masaki · KASE Tomoki · TANAKA Keisaku (1979), Correlation of the Cretaceous Formations in the Shima Peninsula, Memoirs of the National Science Museum · Natural History of the Southern Part of the Japanese Alps and the Kii Peninsula, Including the Tokai District (1), 12, 73-82

小尾 中丸・氏家 明・宮村 学 (1969), 熊野地域における自動車放射能探査, 地質調査所月報, 20, 3, 185-196

小田巻 実 (2004), 熊野灘沿岸の潮位変動と防災, 海洋, 36, 7, 498-503, 海洋出版

小原 正顕・藤本 艶彦 (2000), 和歌山県の上白亜系鳥屋城層から産した軟骨魚類 *Hexanchus cf. microdon* の歯の化石, 和歌山県立自然博物館館報, 18, 35-38

小原 正顕・久富 邦彦・佐向 幸雄 (2001), 和歌山県白浜町の中新統田辺層群から産出した *Pholadomya*, 和歌山県立自然博物館館報, 19, 41-50

小原 正顕 (2007), 和歌山県広川町の下部白亜系湯浅層から産出した *Protolamna* (日本最古のネズミザメ目) の歯化石, 和歌山県立自然博物館館報, 25, 39-42

尾原 信彦 (1955), 和歌山県日高川水系電源ダム予定地点地質調査報告, 地質調査所月報, 6, 2, 83-90

小川 琢治 (1905), 20 万分の 1 地質図幅「鳥羽」および説明書, 地質図, 1:200, 000, 56, 60, 1sheet, 地質調査所

小川 健三・須田 芳朗・馬場 健三 (1981), 和歌山県紀伊山地域等重力線図, 1:50, 000, 地熱地域等重力線図, 3, 1 sheet, 地質調査所

岡 義記 (1978), 和泉山脈の形成と大阪層群, 第四紀研究, 16, 4, 201-210

岡田 篤正・寒川 旭 (1978), 和泉山脈南麓域における中央構造線の断層変位地形と断層運動, 地理学評論, 51, 5, 385-405, 日本地理学会

岡田 篤正・熊木 洋太 (1983), 宮川の段丘と跡津川断層の変位, 地球・跡津川断層 (2), 5, 7, 411-416, 海洋出版

岡田 篤正 (1986), 和歌山県高野口町田原における中央構造線の断層露頭, 活断層研究, 2, 43-50, 活断層研究会

岡田 篤正・松井 和夫・横田 裕・斎藤 勝・遠藤 理・野田 利一・香川 敏幸 (1998), 和歌山平野北東部における中央構造線の地下構造, 活断層研究, 17, 84-96, 活断層研究会

岡田 篤正・松井 和夫・遠藤 理・有吉 道春・斎藤 勝 (1999), 中央構造線活断層系根来断層の柱状と最新活動-和歌山市今滝 (仁王谷) でのトレンチ調査-, 活断層研究, 18, 37-54, 活断層研究会

岡田 篤正・千田 昇・中田 高 (2009), 都市圏活断層図「五條」第 2 版, 都市圏活断層図 1:25, 000・国土地理院技術資料 D-1-No.524, 1 sheet, 国土地理院

岡田 篤正 (2009), 活断層 (活構造)・地下深部構造・地震災害 5.6 紀伊水道域の活構造, 日本地方地質誌 5 近畿地方, 354-357, 朝倉書店, 東京

岡本 省吾 (1993), 紀伊半島西部四万十帯白亜系美山コンプレックスより産出した放散虫化石, 大阪微化石研究会誌, 特別号・放散虫研究集会論文集(第

4 回), 9, 205-214

OKUDA Hisashi·YAMAGIWA Nobuo (1978), Triassic Corals from Mt. Daifugen, Nara Prefecture, Southwest Japan, Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series, 110, 297-305, Palaeontological Society of Japan

奥田 尚·岩橋 豊彦 (2004), 紀伊山地中央部に産するスーパーブルムの岩石“メタドレライト”, 地学研究, 53, 3, 137-147, 益富地学会館·日本地学研究会

奥田 尚 (2006), 石灰岩の産状と産出する六射サンゴ化石が示す年代—紀伊山地中央部山葵谷から産する六射サンゴ化石についての再検討—, 地球科学, 60, 5, 389-401

奥田 義久·村上 文敏·石原 丈実·西村 清和 (1977), 紀伊水道南方海底地質図 1:200,000, 海洋地質図, 5, 4 sheets, 地質調査所

奥西 一夫 (2008), 奈良県大滝ダム湛水域の地すべり問題, 地学教育と科学運動, 58/59, 68-74, 地学団体研究会

王 長龍·前川 寛和 (1997), 紀伊半島北西部三波川変成帯の曹長石-黒雲母帯, 岩鉱, 92, 2, 43-54, 日本岩石鉱物鉱床学会

大庭 昇 (1967), 四万十累帯西部の花崗岩質岩類, 柴田秀賢教授退官記念論文集, 34-40, 柴田秀賢教授退官記念会

大庭 昇 (1966), 四万十累帯西部における花崗岩質岩類の地質学的意義, 鹿児島大学理科報告, 15, 13-24

大江 文雄 (1986), 和歌山県田辺沖から得られた深海魚オニガシラ科(Ostracoberyidae)2種の耳石について, 化石の友, 30, 22-26, 東海化石趣味の会·東海化石研究会

大堀 晋司 (1986), 奈良県吉野郡天川村の鉱物産地案内, 京都地学会会誌, 40, 10-15

大堀 晋司·小林 暉子 (1991), 奈良県三盛鉱山および竜神鉱山産砒灰鉄石, 地学研究, 40, 2, 81-83, 日本地学研究会

大平 芳久 (1982), 紀伊半島中央部·高見山北方地域の領家帯の地質, 地質学雑誌, 88, 6, 467-481

大石 朗·村松 容一·吉田 裕·橋詰 良吉 (1995), 流体包有物による和歌山県本宮地域の熱水活動の検討, 温泉科学, 45, 2, 63-75

大森 琴絵 (1999), 四万十帯に記録された熱イベントからみた若い海洋プレートの沈み込み, 地球, 号外·大陸形成-地球の物質分化循環過程の解明-, 23, 169-177, 海洋出版

大村 亜希子·池原 研 (2006), 海盆底への堆積物運搬過程と海水準上昇に伴う沿岸環境変化の関連—後氷期の熊野トラフと伊勢湾の例—, 地質学雑誌, 112, 2, 122-135

小野 広一郎 (1969), 紀州鉱山の新探鉱とその成果, 鉱山, 22, 10, 35-39, 日本鉱業協会

小野 広一郎 (1971), 紀州鉱山の地質構造と鉱床, 鉱山地質, 21, 2, 150-161

小野 広一郎 (1969), 紀州鉱山の地質構造と鉱化金属量との関係, 鉱山地質, 19, 5, 299-311

大阪府企画部企画室総合計画課 (1976), 土地分類基本調査「尾崎·岸和田·和歌山(大阪府)·粉河(大阪府)」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 50, 5 sheets

大阪通産局·奈良県経済部 (1993), 吉野·熊野未開発地域地下資源調査報告(1959), 地質調査所研究資料集, 2300, 33, 2 sheets

大平 芳久 (1982), 紀伊半島中央部·高見山北方地域の領家帯の地質, 地質学雑誌, 88, 6, 467-481

大築 洋之助 (1904), 20万分の1地質図幅「那智」および説明書, 地質図, 1:200,000, 57, 90, 1 sheet, 地質調査所

折橋 裕二·岩野 英樹·平田 岳史·檀原 徹·新正 裕尚 (2007), 西南日本外帯, 熊野酸性岩類に含まれる赤色·無色·灰濁色ジルコンのU-Pb年代および微量元素組成と珪長質マグマの成因, 地質学雑誌, 113, 7, 366-383

小沢 泉夫 (1971), 紀州鉱山における地球潮汐ひずみの観測, 京都大学防災研究所年報, 14A, 47-54

尾関 規 (1961), 奈良県五条鉱山の地質と鉱床, 鉱山地質, 11, 45/46, 142-146

[R]

ROSER Barry・ISHIGA Hiroaki・BESSHO Takanori・DOZEN Kaori (1998), Major and trace element analyses of Cretaceous to Miocene sedimentary rocks from the Shimanto terrane, Kii Peninsula, SW Japan, Geoscience Reports of Shimane University, 17, 57-67

ROSER Barry ・ KIMURA Jun-ichi ・ HISATOMI Kunihiko (2000), Whole-rock elemental abundances in sandstones and mudrocks from the Tanabe Group, Kii Peninsula, Japan, Geoscience Reports of Shimane University・ Special Issue for Professor Takao Tokuoka, 19, 101-112

[S]

貞清 新一 (1967), 妙法鉱山, 日本鉱業会誌, 83, 956, 1665-1666, 日本鉱業会

佐伯 宏 (1961), 紀州鉱業所北部地域の地質および鉱床について, 鉱山地質, 11, 45/46, 83-87

佐伯 宏・古藤 次郎 (1972), 紀伊半島中央部の地質および鉱床, 鉱山地質, 22, 5, 437-447

佐伯 龍男・林 雅雄・森田 澄人・松島 潤 (2003), 熊野海盆北縁部における地震波速度構造, Green Report 2003・地圏資源環境研究部門成果報告-日本の天然ガスメタンハイドレート, 43-44, 産業技術総合研究所地圏資源環境研究部門

雑賀 貞次郎 (1932), 白浜, 湯崎両温泉場各温泉現況調査, 白浜, 湯崎温泉叢書 科学文献篇 (昭和7年版), 150-172, 紀南の温泉社, 田辺町

斎藤 勝・佃 栄吉・岡田 篤正・古沢 明 (1997), 和歌山市北部における低位段丘堆積物中の始良 Tn 火山灰と根来断層の平均変位速度, 第四紀研究, 36, 4, 277-280

坂 幸恭 (1969), 紀伊半島有田川地溝帯の東端部について, 地学雑誌, 78, 2, 51-63, 東京地学協会

坂 幸恭 (1970), 紀伊半島の秩父累帯 (資料), 早稲田大学教育学部学術研究 (生物学・地学編), 19, 73-106

坂 幸恭 (1971), 三重県南島町藤坂に沿う秩父・四万十系, 早稲田大学教育学部学術研究 (生物学・地学編), 20, 13-27

坂 幸恭・手塚 茂雄 (1988), 志摩半島の秩父帯南帯, 地学雑誌, 97, 1 (no.888), 10-24

坂 幸恭・高木 秀雄 (1983), 和歌山県有田川上流地域における黒瀬川構造帯, 地質学雑誌, 89, 4, 223-237

酒井 隆太郎 (1985), 中部地方から紀伊半島東部三波川帯中の超苦鉄質岩類中に産する自然金属及び隋伴鉱物について, Magma, 74, 5-13, 火成作用研究会

坂本 隆彦・別所 孝範 (1992), 酸性凝灰岩と密接に産する砂岩の形成: 紀伊半島四万十累層群の竜神累層千足山酸性凝灰岩体を例として, 地質学論集・変動帯における碎屑岩類の組成と起源-日本列島を例として-, 38, 271-280, 日本地質学会

坂田 将・牧 真一・矢崎 清貴・永田 松三 (1987), 紀伊半島の石油・天然ガス資源に関する地球化学的考察, 地球化学, 21, 2, 65-74

斎藤 実篤・宮川 歩夢・山田 泰広・木下 正高 (2009), 科学掘削におけるメタンハイドレートの物理検層解析-熊野堆積盆地の例-, 石油技術協会誌, 75, 1, 54-58

- 左向 幸雄・富田 進 (2010), 和歌山県の中新統田辺層群産オウムガイ類アツリア化石, 地学研究, 58, 4, 195-201, 益富地学会館・日本地学研究会
- 桜井 博一・木本 博 (1993), 和歌山県地下資源調査第1班調査報告書(光永・麻生津・見好各含銅硫化鉄鉱山)(1954), 地質調査所研究資料集, 2286, 19, 1 sheet, 地質調査所
- 産業技術総合研究所・和歌山県総合防災課・小泉 尚嗣・佐藤 努・中林 憲一 (2005), 1944年東南海地震と1946年南海地震に伴う和歌山県湯峯温泉の変化について, 地震予知連絡会会報, 74, 610-614, 国土地理院
- 寒川 旭 (1977), 紀ノ川中流域の地形発達と地殻運動, 地理学評論, 50, 10, 578-595, 日本地理学会
- 寒川 旭 (1998), 記念講演「活断層と地震考古学」, きのくに文化財, 31, 1-17, 和歌山県文化財研究会
- 寒川 旭 (1999), 紀伊半島における中央構造線の活動史と地形発達, 地球・日本列島の6Ma以降のテクトニクス, 21, 10, 643-648, 海洋出版
- 佐々木 洋大・磯崎 行雄 (1992), 紀伊半島中央部 三波川帯・四万十帯間の低角度スラスト, 地質学雑誌, 98, 1, 57-60
- 佐竹 健治・寒川 旭・須貝 俊彦 (1997), 金剛断層系の総合調査, 近畿圏の断層活動とテクトニクス, 40-44, 大阪土質試験所
- 佐竹 健治・寒川 旭・須貝 俊彦 (1998), 金剛断層系のトレンチ掘削調査(補備調査), 地質調査所速報・活断層・古地震研究調査概要報告書(平成9年度), EQ/98/1, iv-iv, 151-159
- 佐藤 幸二 (1964), 紀伊白浜温泉の地質と温泉, 地質学雑誌, 70, 821, 110-125
- 佐藤 幸二 (1996), 温泉今昔物語(其の19), -白浜温泉-, 地熱エネルギー, 21, 4, 308-318, 新エネルギー財団
- 佐藤 努・小泉 尚嗣・中林 憲一 (2005), 昭和南海地震で湯峯温泉の湧出は止まったのか?, 地質ニュース, 609, 31-42, 実業公報社
- 佐藤 伝蔵・佐藤 源郎 (1932), 瀬戸鉛山村湯崎半島(昭和2年7月調査), 白浜, 湯崎温泉叢書 科学文献篇(昭和7年版), 37998, 紀南の温泉社, 田辺町
- 佐藤 幸二 (1964), 紀伊白浜温泉の地質と温泉, 地質学雑誌, 70, 821, 110-125, 日本地質学会
- 佐藤 幸二 (1970), 白浜温泉の1噴騰泉の噴騰機構, 温泉科学, 2, 1, 37-47, 日本温泉科学会佐藤 隆春(1985), 大阪周辺から和歌山市東方に分布する新第三紀火山岩類, 地団研専報・瀬戸内区の特性, 29, 143-151
- 佐藤 隆春・紺谷 吉弘・志岐 常正 (2001), 泥質千枚岩からなる山地域でのゴルフ場開発にともなう土砂災害の評価と河川管理の問題点—奈良県吉野地域での例—, 環境地質学シンポジウム論文集, 11, 333-338, 日本地質学会環境地質研究委員会
- 佐藤 隆春 (2003), 紀伊半島中央部の秩父帯に産する含ケルスート閃石メタグabbo, 地球科学, 57, 1/2, 7-22,
- 佐藤 隆春・大和大峯研究グループ・岩橋 豊彦・奥田 尚・佐藤 浩一・竹内 靖夫・南浦 育弘・八尾 昭 (2006), 大峯・大台コールドロン—紀伊山地中央部にみられる弧状および半円形の断層・岩脈群と陥没構造—, 地球科学, 60, 5, 403-413
- 佐藤 隆春 (2008), 大滝ダム試験湛水で発生した地すべりの地質学的背景, 地学教育と科学運動, 58/59, 85-93
- 佐藤 隆春 (2003), 紀伊半島中央部の秩父帯に産する含ケルスート閃石メタグabbo, 地球科学, 57, 1/2, 7-22,
- 沢田 敏男・広田 孝一・金津 昭治・清水 欣一 (1972), 十津川紀の川農業水利事業大迫ダム岩盤検査書, 地質地下水調査報告書集(昭和47年度), 1-7, 近畿農政局計画部資源課
- 柴田 賢・野沢 保 (1973), 牟婁層群中のオーソコークサイト礫および片麻岩礫のK-Ar年代, 地質調査所月報, 24, 11, 551-553
- 柴田 賢・杉山 雄一・高木 秀雄・内海 茂 (1988), 奈良県吉野地域の中央構造線沿いに分布する諸岩石の同位体年代, 地質調査所月報, 39, 12, 759-781

- SHIBATA Ken · NOZAWA Tamotsu (1968), K-Ar Age of Omimesan Acid Rocks, Kishu, Japan, Bulletin of the Geological Survey of Japan, 19, 4, 219-222
- 柴山 元彦・小野 諭 (2004), 天然記念物に指定されている地質環境—橋杭岩と南紀の奇岩怪峰群—, 地質と調査, 102, 38-39, 土木春秋社
- 茂野 博 (2006), 「奈良県入之波温泉に発達するトラバーチンの堆積過程」へのコメント(様々な観点から), 地質学雑誌, 112, 7, 482-485
- 資源エネルギー庁 (1979), 広域調査報告書-那智地域- (昭和53年度), 56, 5 sheet
- 資源エネルギー庁 (1980), 広域調査報告書-那智地域- (昭和54年度), 23
- 資源エネルギー庁 (1989), 広域地質構造調査報告書-那智地域- (昭和63年度), vii, 164, 35, 4
- 資源エネルギー庁 (1990), 広域地質構造調査報告書-那智地域- (平成元年度), vi, 136, 27, 7
- 資源エネルギー庁 (1992), 広域地質構造調査報告書-那智地域- (平成3年度), 47
- 資源エネルギー庁 (1993), 広域地質構造調査報告書-那智地域- (平成4年度), 43
- 志井田 功・諏訪 兼位・杉崎 隆一・田中 剛・塩崎 平之助 (1971), 奈良県十津川地域における日高川帯の緑色岩類, 地質学論集・地向斜堆積物の研究, 6, 137-149, 日本地質学会
- 志井田 功 (1962), 紀伊山地中央部における秩父累帯および日高 (四万十) 累帯の層位的構造地質学的研究, 名古屋大学教養部紀要, 6, Separate Volume 1, 58, 名古屋大学教養部
- 志井田 功・諏訪 兼位・梅田 甲子郎・星野 光雄 (1989), 山上ヶ岳地域の地質, 地域地質研究報告 (5万分の1地質図幅), 11 Kyoto, 83, 100, 1 sheet, 地質調査所
- 志岐 常正・加賀美 英雄・原田 哲朗・紺田 功・満塩 博美・中村 純・中沢 圭二・西田 史朗・鈴木 博之・立石 雅昭・徳岡 隆夫・吉村 郁夫 (1971), 紀伊水道沖および土佐藩附近の海底地質, 海洋地質, 7, 2, 37-47, 海洋地質研究会
- SHIMADA Koji · KOBARI Yuichiro · OKAMOTO Takayuki · TAKAGI Hideo · SAKA Yukiyasu (2001), Pseudotachylyte veins associated with granitic cataclasite along the Median Tectonic Line, eastern Kii Peninsula, Southwest Japan, Journal of the Geological Society of Japan, 107, 2, 117-128
- 島田 耕史・高木 秀雄・大沢 英昭 (1998), 横ずれ圧縮場における地質構造発達様式: 紀伊半島東部, 領家帯南縁部のマイロナイト化と褶曲形成の時空関係, 地質学雑誌, 104, 12, 825-844
- 島野 安雄 (2000), 名水を訪ねて(48)紀伊・志摩半島の名水, 地下水学会誌, 42, 1, fr.1-fr.1, 107-117
- 下司 信夫・中島 隆・及川 輝樹・新正 裕尚・三浦 大助・小泉 尚嗣 (2009), 三重県熊野市の井内浦観測点掘削で得られたボーリングコア試料からみた熊野酸性岩の構造と岩石学的特徴, 地質ニュース, 662, 11-15, 実業公報社
- 清水 博行 (1985), 紀伊半島田辺層群中の含礫泥岩ダイヤピル, 地質学雑誌, 91, 10, 691-697
- 清水 博行・久富 邦彦 (1993), ストーム砂岩層の変形イベント—田辺層群白浜累層の例—, 地球, 号外・イベントとリズム, それらの記録—志岐常正教授退官記念号—, 8, 189-196, 海洋出版
- 清水 勲 (1996), 防災教育と「稲むらの火」, 歴史地震, 12, 215-221, 歴史地震研究会
- 清水 泰武・森川 智・坂口 英雄・小川 満・辻 裕・赤川 直・谷垣 和伸・山下 雅数・梶原 康男・伊藤 俊方・北村 健一郎・中村 昌弘 (2010), 和歌山県の斜面防災を語る (その2), 斜面防災技術, 36, 3, 34-47, 斜面防災対策技術協会
- 篠原 正男 (1980), 和泉山脈の和泉層群にみられる流痕—加太北方深山湾周辺を例にして—, 大阪の地学教育, 2, 7-16, 大阪府科学教育センター

- 篠原 正男・宮田 隆夫・市川 浩一郎 (1983), 根来断層-和泉山脈南縁の中央構造線の副断層-, 地質学雑誌, 89, 7, 395-402
- 新正 裕尚・折橋 裕二・角井 朝昭・中井 俊一 (2002), 室生火砕流堆積物の全岩化学組成-その給源への手掛り-, 岩石鉱物科学, 31, 6, 307-317
- 新正 裕尚・和田 穰隆・折橋 裕二・角井 朝昭・中井 俊一 (2003), 岩脈中の花こう岩質包有物のジルコン U-Pb 年代から推定される奈良県吉野地域の中央構造線南方に伏在する中新世花こう岩質岩体, 地質学雑誌, 109, 12, 689-696
- 新正 裕尚・下田 玄・福岡 孝昭・角井 朝昭 (2005), 紀伊半島大峯花崗岩質岩から見いだされた Mg に富む火成包有物, 岩石鉱物科学, 34, 1, 15-23
- 新正 裕尚・角井 朝昭・折橋 裕二・下田 玄 (2007), 蛍光 X 線分析による熊野酸性火成岩類の全岩化学組成, 人文自然科学論集, 124, 31-40, 東京経済大学人文自然科学研究会
- 新正 裕尚・折橋 裕二・和田 穰隆・角井 朝昭・中井 俊一 (2007), 紀伊半島中新世珪長質火成岩類の全岩組成の広域的变化, 地質学雑誌, 113, 7, 310-325
- 新正 裕尚・折橋 裕二・和田 穰隆・角井 朝昭・中井 俊一 (2008), 瀬戸内火山岩の流紋岩質岩の起源について-「紀伊半島中新世珪長質火成岩類の全岩組成の広域的变化」への討論に対する回答, 地質学雑誌, 114, 7, 384-386
- 新正 裕尚・岩野 英樹・和田 穰隆・折橋 裕二・角井 朝昭・檀原 徹 (2010), 奈良盆地周縁部の玉手山凝灰岩・石仏凝灰岩の火山ガラスおよび全岩の化学組成, 地質学雑誌, 116, 8, 447-452
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (1994), 地熱開発促進調査報告書 (No.37), -本宮地域-, 885
- 塩野 清治 (1970), 微小地震観測網から求めた和歌山地方の地震の発震機構 (第 2 報), 地震 第 2 輯, 23, 4, 253-263, 日本地震学会
- 宍倉 正展・越後 智雄・前杵 英明・石山 達也 (2008), 紀伊半島南部沿岸に分布する隆起生物遺骸群集の高度と年代-南海トラフ沿いの連動型地震の履歴復元-, 活断層・古地震研究報告, 8, 267-280, 産業技術総合研究所地質調査総合センター
- 宍倉 正展・越後 智雄・前杵 英明・石山 達也・永井 亜沙香 (2008), 南海トラフ沿いに起きた歴史地震に伴う隆起を記録した紀伊半島南部沿岸の生物遺骸群集, 歴史地震, 23, 21-26, 歴史地震研究会
- 宍倉 正展・越後 智雄 (2007), 紀伊半島南部沿岸における古地震調査, AFRC News, 72, 8-8, 産業技術総合研究所活断層研究センター
- 庄司 勝信・本田 裕・大原 聡・大田黒 勝人・小倉 義雄 (1992), 紀伊半島東部に見出した変火砕岩類, 三重大学教育学部研究紀要, 自然科学, 43, 19-31
- 角 幸一・山本 荘毅 (1982), 御坊市附近の地下水, 地域研究, 23, 1, 1-6, 立正地理学会
- 角井 朝昭・内海 茂・新正 裕尚・下田 玄 (1998), K-Ar 法による熊野酸性火成岩類の年代の再検討, 地質学雑誌, 104, 6, 387-394
- 諏訪 兼位・宮川 邦彦・水谷 総助・林田 守生・大岩 義治 (1997), 紀伊半島中部, 中央構造線の大露頭: 月出露頭 (三重県飯南郡飯高町月出ワサビ谷), 地質学雑誌, 103, 11, fr.xxxv-xxxvi
- 諏訪 浩 (2004), 十津川流域の侵食と流砂, 海洋, 36, 3, 200-204, 海洋出版
- 鈴鹿 恒茂 (1961), 奈良県五条市付近における中央構造線について, 水曜会誌, 14, 6, 297-300, 水曜会
- 鈴木 晶 (1979), 地形および地質, 日本自然保護協会調査報告・天神崎自然観察地域設置調査報告書, 59, 7-8
- 鈴木 博之 (1973), 紀伊半島牟婁帯の褶曲構造, 構造地質研究会誌, 15, 20-21, 構造地質研究会
- 鈴木 博之 (1973), 紀伊半島四万十累帯の構造地質学的研究, とくに褶曲について, 四万十地向斜シンポジウム論文集一, 2, 71-76
- 鈴木 博之・立石 雅昭 (1975), 四万十地向斜の発展史と黒潮古陸, 海洋科学, 7, 10, 39-43, 海洋出版

- 鈴木 博之 (1976), 紀伊半島宇久井周辺の牟婁層群と熊野層群, 同志社大学理工学研究報告, 17, 2, 126-137
- 鈴木 博之・原田 哲朗・石上 知良・公文 富士夫・中屋 志津男・坂本 隆彦・立石 雅昭・徳岡 隆夫・井内 美郎 (1979), 栗栖川地域の地質, 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅), 11 Kyoto, 102, 54, 2 sheets, 地質調査所
- 鈴木 博之 (1988), 紀伊半島の四万十累帯牟婁層群の始新世放散虫化石, 同志社大学理工学研究報告, 29, 3, 185-196
- 鈴木 博之 (1989), 紀伊半島における新生代堆積盆の発達様式, 同志社大学理工学研究報告, 30, 1, 69-75, 同志社大学理工学研究所
- 鈴木 博之 (1993), 紀伊半島の四万十累帯音無川帯から始新世放散虫化石の発見, 地球科学, 47, 1, 75-79
- 鈴木 博之 (1995), 紀伊半島南部地域の中新統酸性火砕岩岩脈について, 同志社大学理工学研究報告, 36, 12, 77-85
- 鈴木 昌 (1982), 地勢, 白浜町誌 自然編-白浜の自然-, 1-6, 白浜町 (和歌山)
- 鈴木 昌 (1982), 地質, 白浜町誌 自然編-白浜の自然-, 7-13, 白浜町 (和歌山)
- 鈴木 舜一・小田 幸人・南部 松夫 (1982), 紀州鉾山付近における中新統のビトリナイトの熱変質, 鉾山地質, 32, 1, 55-65
- 鈴木 達夫 (1938), 7 万 5 千分の 1 地質図幅「田辺」, 地質図幅 1:75, 000, 195, 1 sheet, 地質調査所
- 鈴木 達夫 (1939), 7 万 5 千分の 1 地質図幅「御坊」, 地質図幅 1:75, 000, 193, 1 sheet, 地質調査所
- 鈴木 稔和 (1987), 田辺層群朝来累層の古流系と堆積環境, 地球科学, 41, 4, 205-220
- 鈴木 亘・岩田 知孝 (2006), 経験的グリーン関数法を用いた 2004 年紀伊半島南東沖地震前後の震源モデル, 地球 号外・巨大地震による長周期地震動-予測と今後の対応策-, 55, 92-97, 海洋出版

[T]

- 田畑 茂清・井上 公夫・早川 智也・佐野 史織 (2000), 降雨により群発した天然ダムの形成と決壊に関する事例研究-十津川災害 (1889)と有田川災害 (1953)の比較-, 十津川災害 111 周年記念集会-斜面災害発生場所予測に向けて-, 18-28, 千木良 雅弘 (京都大学防災研究所)
- 田畑 茂清・井上 公夫・早川 智也・佐野 史織 (2001), 降雨により群発した天然ダムの形成と決壊に関する事例研究-十津川災害 (1889)と有田川災害 (1953)-, 砂防学会誌・新砂防, 53, 6, 66-76
- 橘 徹 (1993), 海中に流入した土砂流堆積物-中期中新世田辺層群の例-, 地球 号外・イベントとリズム, それらの記録-志岐常正教授退官記念号-, 8, 113-115, 海洋出版
- 多田 文男 (1962), 紀伊半島の地形と南海地震, 駒沢大学文学部研究紀要, 21, 67-78
- 田結庄 良昭・村田 守 (1992), 紀伊半島中央部, 大峯地域の中新世 I タイプ・S タイプ花崗岩のアンモニウムの含有量と微量化学組成, 人と自然 1, 27-33, 兵庫県立自然系博物館設立準備室
- TAKASU Akira · DALLMEYER R. David · HIROTA Yoshio (1996), 40Ar/39Ar muscovite ages of the Sambagawa schists in the Imori district, Kii Peninsula, Japan - Implications for orogen-parallel diachronism -, Journal of the Geological Society of Japan, 102, 5, 406-418
- 田久保 実太郎・鶴飼 保郎 (1950), 金屋淵鉾山調査報告, 地下資源開発鉾床地質調査報告書-金屋淵鉾山・宇井鉾山・第二宗山鉾山・銅ヶ峯鉾山・川股鉾山・高津鉾山-, 15-34, 奈良県

- 高橋 千鶴・狩野 彰宏 (2005), 奈良県入之波温泉に発達するトラバーチンの堆積過程, 地質学雑誌, 111, 12, 751-764
- 高島 千鶴・狩野 彰宏 (2006), 入之波温泉トラバーチンの堆積速度と日輪組織—「奈良県入之波温泉に発達するトラバーチンの堆積過程」へのコメントに対する回答, 地質学雑誌, 112, 7, 486-489
- 高橋 学・杉田 裕・薛 自求・大西 康智・石島 洋二 (1993), 白浜砂岩の透水特性に及ぼす各種応力の影響について—ダイラタンシー以前の応力状態の場合—, 資源と素材, 109, 10, 803-809, 資源・素材学会
- 滝本 清・鈴鹿 恒茂・港 種雄・日下部 吉彦 (1967), 奈良県吉野川流域大津古谷における骨材用砂岩, 水曜会誌, 16, 4, 179-184, 京都大学
- 玉井 済夫 (1979), 調査地域の概要, 日本自然保護協会調査報告・天神崎自然観察地域設置調査報告書, 59, 4-6
- 田村 俊和・片山 琇五郎 (1975), 熊野浦沿岸の海岸段丘と古土石流堆積物, 第四紀研究, 14, 2, 107-114
- 田辺団体研究グループ (1992), 朝来累層の堆積相と層序—田辺層群朝来累層の研究 (その1)—, 地球科学, 46, 6, 369-383
- 田辺団体研究グループ (1984), 紀伊半島田辺層群の層序と構造, 地球科学, 38, 4, 249-263
- 田辺団体研究グループ (1985), 田辺層群の地質と堆積盆の特徴, 地団研専報・瀬戸内区の特性, 29, 41-52, 地学団体研究会
- 田辺団体研究グループ (1985), 紀伊半島田辺層群の研究—海岸地域 (日置—鴨居間)の地質—, 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 34, 3-24
- 田辺団体研究グループ (1993), 下三栖ファンデルタの堆積相と堆積環境—田辺層群朝来累層の研究 (その2)—, 地球科学, 47, 1, 1-16
- 田辺 裕高・狩野 謙一 (1994), 紀伊半島東部・海山地域の四万十帯上部白亜系, 静岡大学地球科学研究報告, 21, 1-10
- 田辺東部郷土史懇話会 (2004), 紀州の砺山と神子浜砥 (みこと)—神子浜における採石業—(改訂版), 298
- 平 朝彦 (1986), 四万十帯の形成過程, 日本列島の形成—変動帯としての歴史と現在—, 358-365, 岩波書店
- TAIRA Asahiko・BYRNE Timothy・ASHI Juichiro (1992), Photographic Atlas of an Accretionary Prism – Geologic Structures of the Shimanto Belt, Japan –, 124, 23, University of Tokyo Press, Tokyo
- TAKASU Akira ・DALLMEYER R David ・HIROTA Yoshio (1996), $^{40}\text{Ar}/^{39}\text{Ar}$ muscovite ages of the Sambagawa schists in the Imori district, Kii Peninsula, Japan – Implications for orogen-parallel diachronism –, Journal of the Geological Society of Japan, 102, 5, 406-418
- 高木 秀雄 (1985), 紀伊半島東部粥見地域における領家帯の圧砕岩類, 地質学雑誌, 91, 9, 637-651
- 高橋 修 (2000), 海洋プレートの置きみやげ—四万十帯付加体—, 地震列島日本の謎を探る, 224-225, 東京書籍, 東京
- 高橋 保・田中 昭・佐藤 幸二 (1978), 温泉の地球化学的研究 第15報—和歌山県勝浦, 湯川温泉—, 温泉科学, 28, 4, 165-177
- 高橋 保・佐藤 幸二 (1979), 温泉の地球化学的研究 第16報—湯の峯, 渡瀬, 川湯温泉 (その1)—, 温泉科学, 30, 1, 7-19
- 高橋 保・佐藤 幸二 (1981), 温泉の地球化学的研究 (第17報), 竜神温泉, 温泉科学, 32, 1, 37-993
- 高野 秀夫 (1979), 和歌山県中部の地すべり, 砂防学会誌・新砂防, 31, 4, 21-25
- 高柳 幸央 (1998), 紀伊半島四万十帯層状チャートの堆積環境—ノルマルパラフィン組成と主要元素組成からの推定—, 地質学雑誌, 104, 8, 501-515
- 武市 敏雄・竹内 忠雄 (1957), 奈良県五条鉱山金屋淵・立里鉱床概査報告 (雑報), 地質調査所月報, 8, 4, 216-216
- 武市 敏雄 (1956), 奈良県吉野郡川上村内マンガン鉱床および温泉調査報告 (雑報), 地質調査所月報, 7, 11, 523-523
- 武市 敏雄 (1993), 奈良県吉野郡川上村付近の地質および鉱床 (1953), 地質調査所研究資料集, 2314, 23, 1 sheet
- 武市 敏雄・山本 武次郎 (1993), 和歌山県地下資源調査第1班調査報告 (船戸及び紀州滑石鉱山・貴志及び禰宜含銅硫化鉄鉱山) (1954), 地質調査所

研究資料集, 2285, 22

- 竹内 誠 (1988), 紀伊半島中央部の三波川帯中の含アルカリ角閃石片岩, 岩鉱, 83, 2, 69-76
- 竹内 誠 (1996), 紀伊半島三波川帯・秩父帯・四万十帯の地質—奈良県吉野地域及び三重県橿田川地域—, 地質調査所月報, 47, 4, 223-244
- 竹内 誠 (1986), 紀伊半島中央部, 中・古生界砂岩中の碎屑性ザクロ石, 地質学雑誌, 92, 4, 289-306
- 竹内 誠 (1988), 紀伊半島中央部の三波川帯中の含アルカリ角閃石片岩, 岩鉱, 83, 2, 69-76
- 田村 晃一郎 (1993), 紀伊半島東部・秩父帯北帯相当層からの前期三畳紀コノドント化石の発見, 名古屋地学, 55, 13-17, 名古屋地学会
- 田村 俊和・片山 ゆう五郎 (1975), 熊野浦沿岸の海岸段丘と古土石流堆積物, 第四紀研究, 14, 2, 107-114
- 田中 啓策 (1974), 和歌山県湯浅地方の白亜紀古流系, 地質調査所月報, 25, 3, 119-132
- 田中 啓策 (1965), 和泉山脈中部の和泉層群, とくにその堆積相と堆積輪廻について, 地質調査所報告, 212, 1-34
- 田中 昭 (1981), 湯の峯・渡瀬川湯温泉の化学成分と地球化学温度計による地下温度の推定, 温泉工学会誌, 15, 38020, 77-87
- 田中 信一・金谷 弘 (1987), 熊野酸性岩の2-3の物理定数—密度・帯磁率・超音波速度について—, 地質調査所月報, 38, 7, 423-426
- 田中 淳 (1990), チャネルからのあふれ出しタービダイト—和泉山脈の和泉層群の例—, 堆積学研究会報, 33, 37-41
- 田中 淳 (1986), 和泉山脈西部地域のチャンネル重鎮堆積物の堆積機構, 堆積学研究会報, 24, 19-25
- 田中 均・高橋 努・一瀬 めぐみ (2003), 和歌山県広川地域の下部白亜系西広層の貝化石, 熊本大学教育学部紀要 自然科学, 52, 103-112
- 田中 寅夫 (1968), 和歌山における局所地震前後の微細土地変動の研究 (第6報), 京都大学防災研究所年報, 11A, 221-228
- TANAKA Yutaka (1989), Modes of Crustal Movements in Subduction Zones—observed Results in the Kii Peninsula along the Nankai Trough—, Journal of the Geodetic Society of Japan, 35, 2, 133-147
- 田中 悟 (1993), 和歌山県東牟婁郡蔵土銅鉱山調査報告 (1944), 地質調査所研究資料集, 2360, 14, 2 sheets
- TANAKA Yutaka (1989), Modes of Crustal Movements in Subduction Zones—observed Results in the Kii Peninsula along the Nankai Trough—, Journal of the Geodetic Society of Japan, 35, 2, 133-147
- 谷口 真人・島野 安雄 (1999), 洞川湧水群と奈良市内の湧水など—奈良県の名水—, 続名水を科学する, 127-135, 技報堂出版, 東京
- 谷口 真人・島野 安雄 (1998), 名水を訪ねて (42), 奈良県の名水, 地下水学会誌, 40, 3, fr.1-fr.1, 361-370
- 谷口 敦行・箕浦 幸治 (2000), 紀伊半島南部における中期中新世熱水活動, 資源地質, 50, 2, 93-103
- 谷口 慶祐 (2005), 紀伊半島南東沖地震2004 (その1), 京都教育大学紀要, 107, 63-72
- 谷本 正浩・藤本 艶彦 (1998), 和歌山県有田郡広川町白木の下部白亜系湯浅層 (オーテリビアン) で見つかった軟骨魚類 *Hylaeobatis* sp., 地学研究, 47, 1, 41-44, 益富地学会館・日本地学研究会
- 谷本 正浩・高田 雅彦 (1998), 和歌山県有田郡の下部白亜系オーテリビアン湯浅層から見つかったピクドウス科魚類 (硬骨魚綱, ピクドウス目) の歯の化石, 地学研究, 47, 2, 96-99, 益富地学会館・日本地学研究会
- 谷本 正浩・門田 英夫 (1999), 和歌山県有田郡吉備町愛后山の上部白亜系セノマニアン(?) から産した軟骨魚類 *Cretoxyrhina* sp. の歯の化石, 地学研究, 47, 3, 139-141, 益富地学会館・日本地学研究会
- 谷本 正浩・谷 雅則 (1999), 和歌山県有田郡吉備町愛宕山の上部白亜系セノマニアン(?) のサメの歯 (第2報), 地学研究, 48, 3, 161-163, 益富地学会

館・日本地学研究会

谷本 正浩・高田 雅彦 (2002), 和歌山県橋本市柱本の上部白亜系和泉層群において見つかった幼体 (?) のラブカ属化石, 地学研究, 51, 3, 131-134, 益富地学会館・日本地学研究会

立石 雅昭 (1974), 四万十地向斜とフリッシュ・タービダイト, 地学団体研究会総会資料集, 28, 56-77, 地学団体研究会

立石 雅昭 (1976), 牟婁帯西南部の牟婁層群, 地質学雑誌, 82, 6, 395-407, 日本地質学会

立石 雅昭・別所 孝範・原田 哲朗・久富 邦彦・井内 美郎・石上 知良・公文 富士夫・中屋 志津男・坂本 隆彦・鈴木 博之・徳岡 隆夫 (1979), 江住地域の地質, 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅), 11 Kyoto, 106, iii, 65, 2 sheets, 地質調査所

高島 紫野・和田 穰隆・新正 裕尚 (2010), 紀伊半島中央部 宮ノ谷複合岩脈の産状から推定されるマグマ混合及びカルデラとの関係, 地質学雑誌, 116, 9, 496-509

田村 俊和・片山 ゆう五郎 (1975), 熊野浦沿岸の海岸段丘と古土石流堆積物, 第四紀研究, 14, 2, 107-114

田代 正之・川村 喜一郎 (1996), 秩父帯南帯 (三宝山帯) の解釈-高知物部・佐川地域と紀州清水町付近を例として-, 高知大学学術研究報告 自然科学, 44, 11-25

辰巳 洋治郎・中村 孝幸 (2005), 奈良県大塔村国道 168 号線における地すべり災害事例, 地質と調査, 104, 38-41, 土木春秋社

都司 嘉宣・岩崎 伸一 (1996), 和歌山沿岸の安政南海津波 (1854) について, 歴史地震, 12, 169-187, 歴史地震研究会

都司 嘉宣 (1981), 紀伊半島地震津波史料-三重県・和歌山県・奈良県の地震津波史料-, 防災科学技術研究資料, 60, 392, 7, 国立防災科学技術センター

都司 嘉宣 (2004), 熊野海岸の過去の津波と防災対策について, 海洋, 36, 7, 488-497, 海洋出版

津田 秀郎 (1951), 鈴鹿山地北部の地質, 和歌山大学学芸学部学芸研究 (自然科学), 2, 71-74

津田 秀郎 (1952), 南牟婁郡紀州鉾山産の鉾物, 三重地学, 2, 23-23, 三重地学会

津田 秀郎 (1953), 和歌山県の鉾物, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 3, 28-32

津田 秀郎 (1954), 和歌山県南部の銅鉾床, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 4, 32-38

津田 秀郎 (1955), 和歌山県西牟婁郡南海鉾山の地質及び鉾床, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 5, 26-28

津田 秀郎 (1956), 和歌山県那賀郡船戸鉾山の滑石鉾床, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 6, 1-5

津田 秀郎 (1957), 貴志川及び有田川上流地域の地質と崩壊, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 7, 36-46

津田 秀郎 (1958), 和歌山県東牟婁郡北山村の銅・硫化鉄及び大塔鉾山の螢石鉾床, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 8, 31-37

津田 秀郎 (1960), 和歌山県西牟婁郡中辺路町近露地すべり地質調査報文, 9, 1 sheet, 和歌山県農林部林業課

津田 秀郎 (1962), 和歌山南部の金属鉾床の研究, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 11, 15-31

津田 秀郎 (1963), 和歌山県における地すべり, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 13, 25-40

津田 秀郎 (1964), 和歌山県鉾物誌, 和歌山大学学芸学部紀要 (自然科学), 14, 23-36

津田 秀郎 (1973), 三重県の鉾物 (1), 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 23, 65-72

津田 秀郎 (1974), 三重県の鉾物 (2), 和歌山大学教育学部紀要 (自然科学), 24, 51-58

辻原 治・大藪 匡志・内畑 和浩 (1997), 常時微動観測による御坊市日高川以北地域における地盤の動特性推定, 和歌山工業高等専門学校研究紀要, 32,

- 塚脇 祐次・宗森 一郎 (1993), 和歌山県地下資源調査第1班調査報告書 (1953), 地質調査所研究資料集, 2306, 30, 1 sheet
- 佃 栄吉・水野 清秀・宮地 良典・寒川 旭 (1998), 中央構造線活断層系根来断層のトレンチ調査, 地質調査所速報・活断層・古地震研究調査概要報告書 (平成9年度), EQ/98/1, iv-iv, 161-177
- 津村 建四郎 (1991), 「稲むらの火」と広村堤防, 地震ジャーナル, 12, 22-29, 地震予知総合研究振興会
- 津村 善博 (1996), 三重県海山町付近に分布する四万十帯からの生痕化石について, 名古屋地学, 57/58, 1-6, 名古屋地学会
- 津村 善博 (1999), 三重の四万十帯ものがたり, 地球のふしぎ探検-フィールドサイエンス- (東海版), 210-211, 風媒社, 名古屋
- 津村 善博 (2002), 紀伊半島南東部, 中新統尾鷲層群から産出した板鰐類化石の発見, 名古屋地学, 64, 32-34, 名古屋地学会
- 通商産業省 (1967), 広域調査報告書-紀の川地域- (昭和41年度), 4, 1 sheet
- 寺井 一夫 (1999), 化石層序, アーバンクボタ, 38, 10-13, クボタ
- 寺井 一夫 (1999), 紀伊半島の地質-5 田辺層群・熊野層群, アーバンクボタ, 38, 28-29, クボタ
- 寺岡 易司 (1979), 砂岩組成からみた四万十帯地向斜堆積物の起源, 地質学雑誌, 85, 12, 753-769, 日本地質学会
- 寺岡 易司・奥村 公男 (1992), 四万十帯北帯の構造区分と白亜系砂岩組成, 地質学論集・変動帯における碎屑岩類の組成と起源-日本列島を例として-, 38, 261-270, 日本地質学会
- 寺島 禎一 (1984), 和歌山県湯浅北方のケルスート閃石, 京都地学会会誌, 38, 56-56, 京都地学会
- 常盤 哲也・東田 和弘・竹内 誠 (2006), 紀伊半島西部海岸地域に分布する四万十帯白亜系日高川層群, 地質学雑誌, 112, 4, 257-272
- 常盤 哲也・森 慈徳・鈴木 博之・丹羽 耕輔 (2007), 紀伊半島の四万十帯北帯日高川層群竜神層から産出したカンパニアン後期放射虫化石, 地質学雑誌, 113, 6, 270-273
- 富吉 将平・高須 晃 (2009), 和歌山県清水-美里地域の毛原層のローソン石を含む泥質片岩, 地質学雑誌, 115, 10, 540-543
- 徳橋 秀一・両角 芳郎 (1983), 和泉層群におけるコダイアマモの分布と産状, 地質ニュース, 347, 15-27
- 徳岡 隆夫 (1966), 和歌山県日置川上流の牟婁層群, 地質学雑誌, 72, 2, 53-61
- 徳岡 隆夫 (1975), 南紀海岸と黒潮古陸, アーバンクボタ, 12, 16-21, 久保田鉄工
- 徳岡 隆夫・公文 富士夫 (1979), 赤石山地と紀伊半島の四万十帯-とくに砂岩の鉱物組成の考察-, 国立科学博物館専報・南アルプスと紀伊半島を中心とする地域の自然史科学的総合研究 (1), 12, 41-54
- 徳岡 隆夫・原田 哲朗・井内 美郎・石上 知良・木村 克己・公文 富士夫・中条 健次・中屋 志津男・坂本 隆彦・鈴木 博之・谷口 純造 (1981), 龍神地域の地質, 地域地質研究報告 (5万分の1地質図幅), 11 Kyoto, 96, iv, 69, 2 sheets, 地質調査所
- 徳岡 隆夫・原田 哲朗・鈴木 博之・八尾 昭 (1982), 20万分の1地質図「田辺」, 地質図, 1:200, 000, NI-53-16, 1 sheet, 地質調査所
- TOKOYODA Chiharu・MIZUNO Atsuyuki (1978), Quaternary Calcareous Nannoplankton in Deep-Sea Piston Cores Kii Peninsula, Cruise Report・Investigations of the Continental Margin of Southwest Japan, June-July 1975 (GH75-4 Cruise), 9, 54-62, Geological Survey of Japan
- TOMIYOSHI Shohei・TAKASU Akira (2010), K-Ar ages of lawsonite-bearing pelitic schists from the Sambagawa metamorphic belt in the Ise district, eastern Kii Peninsula, southwest Japan, Earth Science; Chikyu Kagaku, 64, 5, 193-200

豊島 吉則 (1968), 和歌山県串本町付近の海蝕台と波蝕棚, 鳥取大学教育学部研究報告 (自然科学), 19, 1, 41-48

[U]

上治 寅次郎 (1952), 大台山麓の二温泉, 関西自然科学研究会会誌, 6, 2-3

上治 寅次郎 (1952), 大台ヶ原山四近の地質, 関西自然科学研究会会誌, 6, 1-2

上治 寅次郎 (1953), 奈良県吉野郡入之波温泉の地質, 関西自然科学研究会会誌, 7, 2-4

上治 寅次郎 (1959), 奈良県十津川温泉について, 温泉科学, 10, 2, 29-33, 日本温泉科学学会

上治 寅次郎 (1960), 大峰山麓洞川盆地の地質, 関西自然科学研究会会誌, 13, 4-6

上治 寅次郎 (1961), 洞川ならびに稲村ヶ岳の地質案内, 関西自然科学研究会会誌, 14, 1-1

上治 寅次郎・日下部 吉彦・貞本 馨 (1953), 大杉谷及び大台ヶ原の地質と岩石, 関西自然科学研究会会誌, 7, 2-2

上野 貴司 (2001), 紀伊半島東部, 伊勢地方三波川帯から産する含ローソン石泥質片岩, 岩石鉱物科学, 30, 6, 255-264

上野 将司 (2000), 岩盤崩壊の発生場と発生周期について, 十津川災害 111 周年記念集會-斜面災害発生場所予測に向けて-, 87-93, 千木良 雅弘(京都大学防災研究所)

上野 三義 (1992), 和歌山県大塔鉱山の螢石鉱床調査報告, 地質調査所研究資料集, 2225, 23, 3 sheets

氏原 温・柴田 博 (1982), 紀伊半島南部の中新統熊野層群産の貝類および板鯉類, 瑞浪市化石博物館研究報告, 9, 25-33

梅田 甲子郎 (1966), 奈良県吉野郡川上村高原川流域のマンガン鉱床, 奈良学芸大学紀要 自然科学, 14, 41-46

梅田 甲子郎・宗森 一郎 (1964), マンガン鉱床調査各論 第4章 近畿地方 第3節 奈良県A 吉野地区, 国内鉄鋼原料調査 第2報, 1963, 237-240, 通商産業省鉱業審議会鉱山部会

梅田 真樹 (1998), 紀伊半島東部, 鳥羽地域の秩父帯青峰層群からの中古生代放散虫化石, 地球科学, 52, 2, 106-114

梅田 康弘 (2004), 紀伊半島南東沖の地震-南海トラフの巨大地震との関連は?-, サイスマ, 8, 12, 8-9, 地震予知総合研究振興会地震調査研究センター

ト部 厚志・田村 圭子 (2007), 奈良県国道 169 号における法面崩壊, 新潟大学災害復興科学センター一年報, 1, 21-22

後 誠介 (1982), 地学図解資料集 1・熊野の山と川と海と, 33, 那智勝浦町地学教育研究会

[W]

和田 穰隆・荒木 美穂 (1997), 高見山酸性火成岩-中央構造線上に分布する S-type 花崗岩質岩, 奈良教育大学紀要 (自然科学), 46, 2, 1-15

和田 穰隆 (1999), 紀伊半島中央部に分布する岩脈の K-Ar 年代, 奈良教育大学紀要 (自然科学), 48, 2, 7-14

和田 穰隆・安藤 将史・東山 岳広 (2000), 紀伊半島中央部, 奈良県川上村と吉野町に分布する岩脈のマグマ流動方向, 奈良教育大学紀要 (自然科学), 49, 2, 47-57

和田 穰隆・岩野 英樹 (2001), 紀伊半島中央部, 奈良県川上村中奥に分布する火砕岩 (tuffite) 岩脈, 火山, 46, 3, 107-115

- 和田 穰隆・藤田 千夏・新正 裕尚 (2007), 紀伊半島中央部, 中期中新世宮滝岩脈: 火道内でのマグマ・ミングリングとその意義, 地質学雑誌, 113, 7, 353-365
- 和田 穰隆・長沢 可奈子 (2008), 紀伊半島中央部, 大峯地域の火砕岩岩脈—火砕噴火の推定火道の産状—, 地球 号外・カルデラ生成噴火—準備過程の理解に向けて—, 60, 91-97, 海洋出版
- 和田 穰隆・三浦 大助 (2009), 火道内での破碎と溶結の繰り返し—紀伊半島中央部, 中奥火砕岩岩脈における地質学的証拠—, 地球・プロキシマル火山地質学の新展開 31, 1, 35-40, 海洋出版
- 和歌山県 (1986), 土地分類基本調査「竜神・十津川・木本・釈迦ヶ岳・尾鷲」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 50, 7 sheets, 和歌山県企画部地域振興課
- 和歌山県 (1982), 土地分類基本調査「江住・田並・周参見」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 45, 7 sheets, 和歌山県企画部水土地対策課
- 和歌山県企画部土地利用対策課 (1979), 土地分類基本調査「田辺・印南」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 47, 7 sheets
- 和歌山県企画部土地利用対策課 (1980), 土地分類基本調査「新宮・阿田和」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 37, 7 sheets
- 和歌山県 (1983), 土地分類基本調査「動木・伯母子岳」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 49, 7 sheets, 和歌山県企画部地域振興課
- 和歌山県 (1984), 土地分類基本調査「川原河」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 45, 7 sheets, 和歌山県企画部地域振興課
- 和歌山県 (1989), 土地分類基本調査「栗栖川」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 45, 7 sheets, 和歌山県企画部地域振興課
- 和歌山県 (1970), 和歌山県の地質, 23
- 和歌山県企画部土地利用対策課 (1976), 土地分類基本調査「海南」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 39, 7 sheets
- 和歌山県企画部土地利用対策課 (1977), 土地分類基本調査「和歌山」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 32, 7 sheets
- 和歌山県企画部土地利用対策課 (1978), 土地分類基本調査「御坊」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 35, 7 sheets
- 和歌山県企画部水土地対策課 (1981), 土地分類基本調査「高野山・五條」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 51, 8 sheets
- 和歌山県企画部水土地対策課 (1982), 土地分類基本調査「那智勝浦・串本」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 39, 7 sheets
- 和歌山県 (1984), 土地分類基本調査「川原河」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 45, 7 sheets, 和歌山県企画部地域振興課
- 和歌山県 (1986), 土地分類基本調査「竜神・十津川・木本・釈迦ヶ岳・尾鷲」, 土地分類基本調査, 1:50,000, 50, 7 sheets, 和歌山県企画部地域振興課
- 和歌山県衛生部 (1960), 和歌山県温泉調査報告—勝浦湯川温泉・湯峰川湯温泉—, 19
- 和歌山県立自然博物館 (2004), 恐竜時代IN 和歌山—化石となった太古の生きものたち—, 18, 和歌山県立自然博物館
- 和歌山県総務部消防防災課 (1999), 地震と活断層, 17, 和歌山県総務部消防防災課
- 和歌山県総務部消防防災課・都司 嘉直 (1996), 南海道地震から 50 年, 83, 1
- 和歌山県 (1999), 中央構造断層帯 (和泉山脈南縁—金剛山地東縁) に関する調査概要報告書—, 20
- 和歌山測候所 (1934), 和歌山県那賀郡に於ける地誌調査報告, 験震時報, 7, 3, 430-432, 中央気象台
- 渡辺 和衛 (1962), 和歌山県日置川上流の堆砂について—付 平瀬ダム地点の地質—, 地質調査所月報, 13, 6, 481-492
- 渡辺 晃・黒磯 章夫 (1967), 紀伊半島西部の局地地震の二, 三の性質について, 地震 第2輯, 20, 3, 180-191, 日本地震学会
- WIN Kyaw Soe ・TAKEUCHI Makoto ・IWAKIRI Seichiro ・TOKIWA Tetsuya (2007), Provenance of detrital garnets from the Yukawa Formation, Yanase district, Shimanto belt, Kii Peninsula, Southwest Japan, Journal of the Geological Society of Japan, 113, 4, 133-145

[Y]

- 山田 直利・小井土 由光・市川 浩一郎・原山 智・田辺 元祥・村上 允英・吉田 久昭・吉倉 紳一・赤羽 久忠 (1979), 泉南層群-領家帯南部における後期中生代酸性火山作用-, 地質学論集・中生代酸性火成作用, 17, 195-208, 日本地質学会
- 山田 節三 (1993), 和歌山県熊野地方銅鉾山調査報告 (1943), 地質調査所研究資料集 2401, 33
- 山中 佳子 (2005), 2004 年紀伊半島南東沖地震の震源過程, 歴史地震, 20, 115-115, 歴史地震研究会
- 山本 幸次・佐藤 慎司・野口 賢二・宮野 正実 (1999), 熊野川を土砂供給源とする海岸の海浜変形と砂礫層厚, 海岸工学論文集 46, 1, 666-670, 土木学会
- 山本 伸二 (1978), 和歌山県飯盛鉾山産スチルプノメレーンについて, 京都地学会会誌, 創立 30 周年記念特別号, 64-65
- 山本 荘毅 (1992), 日本の地下水 (343)-中部地方 10 三重県 (20)宮川村・紀勢町・紀宝町の地下水-, 水, 34, 11, 88-92
- 山本 荘毅 (1995), 日本の地下水 (372)-近畿地方 4 和歌山県 (1)紀川流域の地下水-, 水, 37, 5, 61-63
- 山本 荘毅 (1995), 日本の地下水 (373)-近畿地方 4 和歌山県 (2)紀川流域の地下水 (つづき)-, 水, 37, 6, 84-87
- 山本 荘毅 (1995), 日本の地下水 (374)-近畿地方 4 和歌山県 (3)御坊市の地下水-, 水, 37, 7, 65-67
- 山本 荘毅 (1995), 日本の地下水 (375)-近畿地方 4 和歌山県 (4)有田市の地下水-, 水, 37, 8, 61-63
- 山本 荘毅 (1995), 日本の地下水 (376)-近畿地方 4 和歌山県 (5)湯浅町 (吉備)の地下水-, 水, 37, 10, 73-76
- 山本 荘毅 (1995), 日本の地下水 (377)-近畿地方 4 和歌山県 (5)印南町の地下水 (つづき)-, 水, 37, 11, 65-69
- 山梨 太郎・柏木 健司 (2010), 紀伊半島東部の紀勢-大内山地域の四万十累帯の放散虫化石時代と地質構造, 福井県立恐竜博物館紀要, 9, 9-40
- 山下 透・檀原 徹・岩野 英樹・星 博幸・川上 裕・角井 朝昭・新正 裕尚・和田 穠隆 (2007), 紀伊半島北部の室生火砕流堆積物と周辺に分布する凝灰岩の対比およびそれらの給源: 軽鉾物屈折率を用いたモード分析によるアプローチ, 地質学雑誌, 113, 7, 340-352
- 柳浦 賢五・守田 優 (1987), 奈良県洞川地域の洞窟地形とその形成過程, 大阪教育大学地理学報, 25, 23-46
- 柳井 修一 (1983), 四万十地向斜南縁部における後期白亜紀酸性火山活動, 火山 第 2 集, 28, 1, 11-24
- 柳井 修一 (1983), 紀伊半島西部四万十地帯にみられる鉄・マンガンに富んだ堆積岩, 火山 第 2 集, 28, 2, 117-128
- 柳井 修一 (1983), 紀伊半島西部四万十地帯で発見されたフィーダー岩脈, 地質学雑誌, 89, 12, 727-730
- YANAI Shuichi (1984), Tectonic Development of the Shimanto Geosyncline in the Western Kii Peninsula, Southwest Japan, Journal of the Geological Society of Japan, 90, 4, 223-243, Geological Society of Japan
- 山田 純 (1970), 熊野灘東部沿岸の地形と地質, 吉野熊野国立公園拡張区域 (予定地) 学術調査報告書, 1-18
- 山田 節三 (1993), 和歌山県熊野地方銅鉾山調査報告 (1943), 地質調査所研究資料集 2401, 33
- 大和大峯研究グループ (1976), 紀伊山地中央部の中・古生界-その 1.大普賢岳地域-, 地球科学, 30, 5, 259-267
- 大和大峯研究グループ (1977), 紀伊山地中央部の中・古生界, 地団研専報・日本列島構造発達史の諸問題, 20, 135-136, 地学団体研究会
- 大和大峯研究グループ (1979), 紀伊山地中央部の中・古生界 その 2-大迫地域-, 地球科学, 33, 6, 339-352
- 大和大峯研究グループ (1981), 紀伊山地中央部の秩父帯: 四万十帯, 国立科学博物館研究報告 C 類 (地質学・古生物学), 7, 3, 119-127, 国立科学博

物館

- 大和大峯研究グループ (1989), 紀伊山地中央部の中・古生界 (その3)-御吉野地域-, 地球科学, 43, 3, 119-128
- 大和大峯研究グループ (1992), 紀伊山地中央部の中・古生界 (その4)-高原川地域-, 地球科学, 46, 3, 1-14
- 大和大峯研究グループ (1994), 紀伊山地中央部の中・古生界 (その5)-新子地域-, 地球科学, 48, 2, 103-117
- 大和大峯研究グループ (1998), 紀伊山地中央部の中・古生界 (その6)-辻堂地域-, 地球科学, 52, 4, 275-291
- 大和大峯研究グループ (2002), 紀伊山地中央部の中・古生界 (その7)-入之波地域-, 地球科学, 56, 1, 11-26
- 大和大峯研究グループ (2004), 紀伊山地中央部の中・古生界 (その8)-紀伊山地中央部に存在するという黒瀬川帯についての疑問点-, 地球科学, 58, 2, 75-90
- 大和大峯研究グループ (2005), 紀伊山地中央部の中・古生界 (その9)-辻堂・大峯・台高・国見山地域の再検討-, 地球科学, 59, 5, 287-300
- 大和大峯研究グループ・岩橋 豊彦・奥田 尚・佐藤 浩一・佐藤 隆春・竹内 靖夫・南浦 育弘・八尾 昭 (2007), 紀伊山地中央部の中・古生界 (その10)-大杉地域-, 地球科学, 61, 1, 33-47
- 大和大峯研究グループ (2009), 大峰山・大台ヶ原山-自然のおいたちと人々のいとなみ-, 172, 築地書館, 東京
- 柳井 修一 (1983), 紀伊半島西部四万十地帯で発見されたフィーダー岩脈, 地質学雑誌, 89, 12, 727-730
- 安田 聡・渡辺 和明 (1993), 中央構造線「根来寺断層」精密地形図, 地質調査所研究資料集, 199, 10
- 安江 正之 (1967), 飯盛鉱山, 日本鉱業会誌, 83, 956, 1740-1741, 日本鉱業会
- 安井 広之・杉浦 敏彦・酒井 信介 (2008), 奈良県の地すべり-土木部砂防課 (国土交通省所管)における地すべり対策につて-, 斜面防災技術, 35, 1, 3-12, 斜面防災対策技術協会
- 矢田 俊文 (2005), 1498年明応東海地震の津波被害と中世安濃津の被災, 歴史地震, 20, 9-12, 歴史地震研究会
- 米倉 伸之 (1968), 紀伊半島南部の海岸段丘と地殻変動, 地学雑誌, 77, 1, 1-23
- 与良 三男 (1967), 妙法鉱山の地質鉱床, 鉱山地質, 17, 82/83, 107-112, 日本鉱山地質学会
- 吉田 明夫 (1995), 兵庫県南部地震前後の周辺地域の地震活動の変化と近畿のサイスモテクトニクス, 地質ニュース, 490, 26-32, 実業公報社
- 吉田 史郎 (2003), 地学フォト巡検記 紀伊半島由良町、白崎海岸の石灰岩巨大オリストリス, 地質ニュース, 592, 61-63, 実業公報社
- 吉田 史郎 (2003), 紀伊半島由良町、白崎海岸の石灰岩巨大オリストリス, 地質ニュース, 592, 8-8, 実業公報社
- 吉田 善亮 (1951), 和歌山県飯盛鉱山含銅硫化鉄鉱床調査, 地質調査所月報, 2, 4/5, 208-212
- 吉川 宗治・岩崎 好規・井川 猛・横田 裕 (1993), 反射法地震探査による和歌山県西部の中央構造線の地質構造, 地質学論集・中央構造線のネオテクトニクス-その意義と問題点-, 40, 177-186
- 吉川 輝四 (1966), 三重県紀州鉱山産車骨鉱について-近畿鉱物資料 15-, 地学研究, 17, 6, 145-147, 日本鉱物趣味の会
- 吉松 敏隆・中沢 圭二 (1973), 紀伊半島四万十帯の生痕化石について, 四万十地向斜シンポジウム論文集一, 39-42
- 吉松 敏隆 (1999), 地帯区分と境界断層, アーバンクボタ, 38, 8-9, クボタ
- 吉松 敏隆 (1999), 紀伊半島の地質-1 黒瀬川帯, アーバンクボタ, 38, 14-14, クボタ
- 吉松 敏隆 (1999), 紀伊半島の地質-2 三波川帯, アーバンクボタ, 38, 15-15, クボタ

吉松 敏隆 (1999), 紀伊半島の地質-3 秩父帯, アーバンクボタ, 38, 16-19, クボタ

吉永 秀一郎 (1996), 紀伊山地中部の斜面堆積物中に挟まれる広域テフラ-始良 Tn テフラ, 鬼界アカホヤテフラ-, 第四紀露頭集-日本のテフラ, 267-267, 日本第四紀学会, 東京

吉野 実 (1969), 和歌山県の地質と温泉, 温泉工学会誌, 7, 2, 70-74, 温泉工学会

吉野古第三系研究グループ (1977), 紀伊山地中央部の古第三系, 地団研専報・日本列島構造発達史の諸問題 20, 143-144, 地学団体研究会